



愛知陸協広報

第45号

平成30年7月31日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>



新年度を迎えて

会長 稲垣 隆司

新年度を迎え、一言ご挨拶申し上げます。

協会会員の皆様方には日頃から県内各地で開催されます各種陸上競技大会の運営や公正かつ厳正な審判、さらには次代を担う選手の育成・指導等に多大なるご尽力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げますとともに敬意を表する次第であります。

今年度は例年実施しております愛知陸上競技選手権大会や、U20・U18日本選手権大会、全日本大学駅伝対校選手権大会、読売犬山ハーフマラソン、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知等のほか、第7回スペシャルオリンピック日本夏期ナショナルゲーム・愛知が9月22日から24日まで、また第31回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝競技大会が11月18日に開催されます。協会会員の皆様方には大会運営に当たり大変お世話になります。よろしくお願いいたします。

さて、6月に山口市で開催されました日本陸上選手権でトヨタ自動車所属の湯上剛輝選手が男子円盤投で日本新記録を樹立し優勝するとともに、トーエネック所属の服部弾馬選手が5000mで優勝するなど愛知ゆかりの選手が活躍されました。また、8月にインドネシア・ジャカルタで開催されます第18回アジア競技大会には愛知陸協登録の山口浩勢選手(3000mSC)、山本聖途選手(棒高跳)、湯上剛輝選手(円盤投)及び市川華菜選手(短距離走)の出場が決定しました。大会においてこれらの選手が大いに活躍し優秀な成績を上げ、県民・国民に勇気と感動を与えてくれることを大いに期待しております。

また、2020年には東京でオリンピックが開催されますが、愛知陸上競技協会におきましても皆様方と力を合わせ、一人でも多くの選手が東京オリンピックに出場できるよう若手選手の育成・指導に努めてまいります。さらに今年度は2026年に愛知・名古屋で開催されるアジア大会の準備に向け、愛知県、名古屋市と協議を進めてまいります。

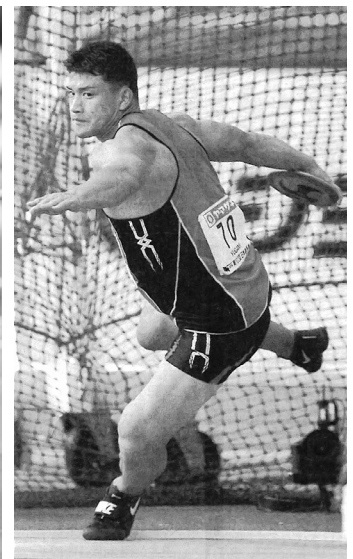
皆様方には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

愛知県勢 新記録ラッシュ

第33回サロマ湖100kmウルトラマラソンで、愛三工業の風間尚選手が6時間9分14秒で世界記録を20年ぶりに更新。(写真左)

第102回日本陸上競技選手権大会で、トヨタ自動車の湯上剛輝選手が円盤投で日本新記録(62m16)を樹立。(写真右)

(写真提供: 中日新聞社 6/25)



専門委員会報告

総務委員会

活動計画

- ◇通年 各委員会に属さない事項への対応
各委員会との連絡調整
諸会議・表彰（褒賞・栄章等）についての対応
各大会の運営を落ちのしないようにする
- ◇年鑑作成
- ◇登録関係 要項作成
登録者数（団体・個人）の集約と整理
- ◇経費 諸物価高騰のおり、経費削減を呼びかける

2018年のトラック&フィールドも前半を終了し、来るべき後半へ向け各チームも強化合宿等に熱を帯びてくる時期かと思われます。今年は、9月22日～24日に、スペシャルオリックス（知的障害者の全国大会）がパロマ瑞穂スタジアムで開催されます。これに向けて準備を進めると同時に、皆様のご支援と選手たちに熱き声援をお願いします。

また、昨年引き続き、過去5年間の登録者数を掲載します。

登録者数の推移

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
一般	3,642	3,788	3,926	4,067	4,198
大学生	937	1,193	1,155	1,115	1,027
高校生	7,509	7,654	7,724	7,871	7,860
中学生	7,512	8,201	8,134	8,520	8,332
合計	19,600	20,836	20,939	21,573	21,417

【陸協事務所移転のお知らせ】

現在入居中の千代田ビル改築に伴い、今秋をめどに事務所を移転します。10月一杯で現在の事務所を閉鎖して、11月より日重ビル（中区大井町）で業務を開始する予定です。平成31年3月頃元へ戻る予定ですが、あくまでも予定なので、詳しくは陸協HPをご覧ください。

その間、皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくをお願いします。

（水野 隆夫）

競技委員会

2018年度の競技会も前半が終わり、この夏休みに全国大会が行なわれようとしています。愛知でも、秋にU20・U18日本陸上競技選手権、読売犬山ハーフマラソン、名古屋ウィメンズマラソンへと例年通り進めていくことになります。また、新たに、穂の国・豊橋ハーフマラソンが始まります。今後も多くの審判員の方の協力を得て、無事2018年度の競技会を終えたいと思います。

2026年のアジア大会を前に、パロマ瑞穂スタジアムが改築されます。その間競技場が使えないため、競技会のあり方を考えなくてはなりません。また、一年を通して競技会への参加者が多く窮屈な運営となっています。関係の皆

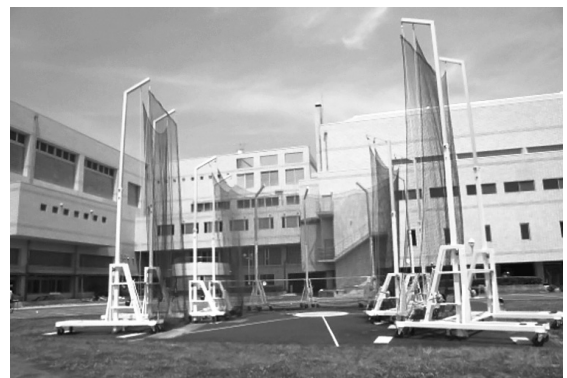
様には各大会の競技種目や、競技内容などいろいろお考えがあると思います。是非、無理のない競技会運営のためにご意見を頂きたいと思います。

競技運営や準備などへのご協力よろしくをお願いします。
（榊原 茂）

施設・用器具委員会

1. 検定関係の報告

- (1) 至学館大学第4種陸上競技場継続検定を5月27日（日）に平川・南技術役員と青木検定員のサポートで実施しました。大きな変更点は男子学生のための次の2点です。①走幅跳・やり投の助走路の延長 ②円盤投・ハンマー投用囲いを9m（最前部）7m（後部）に。検定後、テイク・オーバー・ゾーン、走幅跳踏切板の不備の修正をお願いしました。



至学館大学 ハンマー投用囲い

- (2) パロマ瑞穂スタジアムのテイク・オーバー・ゾーンの変更検定を6月18日（月）に青木検定員がしました。標識タイル、ラインが正確であることを確認しました。



本陸テイク・オーバー・ゾーン検定

2. パロマ瑞穂スタジアム等についての情報と経過報告 (5.29 現在)

5月29日（火）に陸協事務所で、名古屋市スポーツ振興課（佐藤、加藤、稲田）と愛知陸協（稲垣、青木）で以下について、話し合いを持ちました。

- ①第1種陸上競技場継続検定について
 - ・工事スケジュールと検定日の調整
 - ・クラス2の継続（落とし込み縁石の場合、落とし込んだ時上面ラバー等で覆うこと）
- ②大型映像装置の今後について
- ③レク広場の改修工事が5月7日から開始された。公認投てき場（円盤投・ハンマー投）を強く要望中。
- ④2018年度中にスタジアム新設のため、文化庁の指

クラブ紹介③ 上郷 JAC

私ども上郷 JAC は東に矢作川、周りには広大な田畑に囲まれた豊田市南部で活動をしています。

私、上郷 JAC 代表の有我が、豊田市立上郷中学校陸上部の外部指導者として活動している中で、生徒の保護者から「小学生の子どもにも陸上に興味がある子が沢山います」とのお話を頂き、小学生の陸上クラブとして 2006 年に発足しました。

発足当初は上郷地区の生徒ばかりでしたが、今では市の広報誌、口コミやブログ等で情報を得て市内外を問わず、多くのメンバーが在籍し大変賑やかなクラブとなっています。



18 年度初レース 刈谷記録会にて

陸上競技を通じ、健全な心身の育成と自己の能力の向上を目的とし、下記の 10 ヶ条を念頭に置いて指導をしています。

- ①陸上（走る）が好きである。：向上心が生まれる。（「速い・遅い」は関係ありません）
- ②陸上（走る・跳ぶ・投げる）は、あらゆるスポーツの基本である。：基本がしっかりしていれば、どんなことにも対応できる。
- ③無理（できない）は口にしない。：まずは「やってみる」反復練習を行なうことでできるようになる。また、自分

の理解度を高めるためにも高学年は低学年や新メンバーに基本動作や道具の使い方を教える。

- ④練習・大会の時は、陸上以外のことは考えない。：何ごとも集中して取り組む。
- ⑤自分に目標を立て、それに向かって努力する。：努力するかしないかが、結果（記録）に現れる。
- ⑥自分の体を大切にする。：体調管理に気をつけるようになる。
- ⑦自分の事は、自分でやる。：誰のための練習か？誰のための大会か？
- ⑧常に仲間を応援・声援する。：他人を思いやる気持ちになる（人の声は、力になります!）。
- ⑨人が話している時は、相手の目を見る。
- ⑩あいさつ、返事、号令は大きな声できちんと言う。

また、通常の練習以外でも懇親を目的とした春合宿や夏と冬のお楽しみ会等、メンバー同士の絆を深める催しも実施しています。

(有我 真吾)

連絡先：有我真吾 090-3957-0631



合宿：みんなでアスレチック お世話になった豊田市総合野外センターにて

導で遺跡調査をしたいとのこと。

3. 第 1 回施設用器具委員会議報告

日時：2018 年 4 月 27 日（金） 18：30～20：00

場所：愛知陸協事務所

出席者：青木、平川、南、砂子間、名倉、延永、浅井、吉越、三輪、中村、永井、太田、澤辺、藤城、田中、脇田、上田、八田

内 容

1. ルール改正の確認：青木
添付資料により説明
2. 全国技術役員会議・自転車計測員研修会報告：平川
資料により報告
3. 検定スケジュール：青木
添付資料により説明
4. 各陸上競技場の諸問題についての情報交換
一宮：2019.3 検定、全面オーバーレイ、3000mSC 側溝修理、ハンマーサークル、三段跳・走幅跳の踏切板の不具合修理。
知多：昨年管理が第三セクターから、知多市直轄に変わった。管理人のメンバーが頻繁に変わって困る。今回は 1 年で変わった。踏切板の不具合を直した。テイク・オーバー・ゾーンの変更を依頼。

ハンマー投の囲いをしまう時、押しても動かない事があった。報告がないので、報告するように。投てき審判員から、すぐ報告させ

る。（瑞穂のように修理願いをを使用して報告するようにすると良い）

半田：テイク・オーバー・ゾーンの線引きを業者に見積もり依頼中。スポーツ課長が変わって動きが良くなった。ハンマー投の囲いがいつでも使えるようになった。

刈谷：全面改修。10 月中～2 月上旬。7 月図面完成。電気配線がゴール付近のみであるため、スタート地点も埋設するように申し入れ。天然芝で継続する。

安城：昭和 42 年～開場。2000 年全天候に。2015 年人工芝のため投てき不可。2 種⇒4 種に降格。小、中、高が使用できる競技場（3 種）に繰り上げるよう要請。投てきネットが古い。インフィールドの走幅跳ピットを外へ。立地条件は良いが試合がない。

岡崎：2020 年新設。本年基本構想から基本設計へ。指導依頼をお願いする予定。

豊田：昨年検定済み。記録会をやっている。新テイク・オーバー・ゾーンの線引きについて要望を出している。器具等の注文を出している。棒高跳のマットが古くなっている。

豊橋：別紙。スタンドの改修を終えて新しくなったが、いろいろ足りないものがある。2019 年大会からハーフマラソンを公認大会にする。トレーニングルームにマシンを導入。クロスカントリーコースの使用率が上がった。ハー

ドルが古いまま等の課題あり。

豊川：ケージの関係で1年前に投てきができなくなったが、ケージが新しくなった。縁石が壊れている。

白谷：1年前に写真判定装置が入った。

蒲郡：昨年、検定実施。

瑞穂：本年3月北陸検定。テイク・オーバー・ゾーンを引いた。光波計測器、写真判定装置の購入はセイコーが落札した。使用する各団体が慣れるまでサポートを依頼する。

本陸：大型映像装置は老朽化で、電源を入れっぱなしにして維持しているが、不具合が出て今後修理できないことを市教委スポーツ振興課から通告を受けている。

本年度に、アジア大会に向けてのスタジアム全面改修の基本調査がある。

至学館大：5月検定予定。走幅跳・棒高跳ピット・やり投スターティングラインの変更、ハンマー投用囲いのパネルの高さ9m(最前部)7m(後部)の物の新規購入等。

中京大：新しい体育館ができた。室内の棒高跳競技会ができるか？

5. その他

- ・刈谷市の小学生大会でヘッドギアを付けた選手が走りたいたの申し出があった。
→ 先生と医者がOKなら走っても良い。この大会は今年度で終わり。
- ・広報原稿(競技場めぐり)依頼：至学館大学(P16)

(青木 実)

審判委員会

今年度の前期B級審判資格取得講習会を、4月22日(日)パロマ瑞穂スタジアムで実施しました。昨年より1ヶ月早い実施で受講者が集まるか心配していましたが、男女それぞれ19名、合計38名の方が受講されました。講師は榊原茂(総括)・櫻井一美(トラック)・伊藤明久(フィールド)の3名が担当しました。最後に実施したB級審判資格取得試験では、受講者全員が合格しました。来年4月より、新たな仲間として競技運営に携わっていただきます。なお、今年度につきましては、研修審判員として、多くの大会に参加していただきます。審判員の皆様におかれましては、競技会運営に加え、研修審判員のご指導をお願いいたします。

次に今年度、石井哲郎・石場治・伊藤明久・木村元彦・丹羽智行・宮本智(敬称略)の6名の審判員の皆様がNTOの資格を修得されました。今後、我々愛知の審判員代表として、国内大会で活動されます。

最後になりますが、審判委員会の今年度の重点課題は昨年に引き続き「U20・U18日本陸上競技選手権」・「名古屋ウィメンズマラソン2019」の審判員確保です。各審判員の皆様におかれましても委員会の重点課題をご理解いただき、一人でも多くの審判員確保にご協力くださるようお願いいたします。お近くの審判員の方々に「U20・U18日本選手権」と「名古屋ウィメンズマラソン2019」への出席のお声掛けをいただければ幸いです。(櫻井 一美)

選手強化委員会

平成30年度 選手強化委員会 各種行事

平成30年度選手強化委員会の行事は下記のとおりです。本年度国体の実施期間が県新人戦と近いため、所属チームにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。昨年逃した国体天皇杯入賞と、ジュニアオリンピック男女リレー入賞、都道府県対抗男子駅伝での入賞はもとより、女子駅伝連続10年入賞をめざし頑張っております。

<派遣事業>

行事名	期日	派遣日程	場所
国民体育大会	10月5日(金)～9日(火)	10月3日(水)～9日(火)	6泊7日 福井県
ジュニアオリンピック	10月12日(金)～14日(日)	10月11日(木)～14日(日)	3泊4日 神奈川県
日本陸上競技選手権リレー競技大会	10月27日(土)～28日(日)	10月26日(金)～28日(日)	2泊3日 福岡県
都道府県女子駅伝	平成31年1月13日(日)	1月10日(木)～13日(日)	3泊4日 京都府
都道府県男子駅伝	平成31年1月20日(日)	1月18日(金)～21日(月)	3泊4日 広島県

<競技会>

競技会名	期日	場所
国体選考強化普及競技会	4月14日(土)～4月15日(日)	瑞穂 瑞穂北
国体選考春季選抜競技会	4月21日(土)	瑞穂
国体選手選考少年の部	7月1日(日)	瑞穂
駅伝強化豊川長距離競技会	9月17日(月・祝)	豊川
第1回駅伝強化長距離競技会	10月14日(日)	瑞穂北
投擲競技会	10月14日(日)	瑞穂北
第2回駅伝強化長距離競技会	11月10日(土)	瑞穂北
競歩競技会	2月17日(日)	瑞穂北

<強化行事・合宿・練習会>

行事名	期日	場所	備考
国体選手合宿①	8月27日(月)・28日(火)	1泊2日 一宮	
同②	未定	1泊2日 未定	
国体選手練習会	9月30日(日)	1日 瑞穂	
駅伝夏合宿	8月25日(土)～27日(月)	2泊3日 富士見	
都道府県駅伝合宿①	12月25日(火)～28日(金)	3泊4日 瑞穂北 田辺	
同②	平成31年1月4日(金)・5日(土)	1泊2日 瑞穂北	

都道府県 駅伝練習会	平成31年 1月 日()	1日	名城大	(未定)
国体強化 指定選手 練習会①	12月22日(土)・ 23日(日)	1泊2日	知多	投擲
同②	12月22日(土)～ 24日(月)	2泊3日	内海・半田	短・中・跳・障・歩
同③	12月25日(火)～ 28日(金)	3泊4日	瑞穂北 田辺	長距離
同④	平成31年 1月13日(日)	1日	知多	投擲
同⑤	1月14日(月・祝)	1日	豊川	短・中・跳・障・歩
同⑥	1月26日(土)	1日	知多	投擲
同⑦	2月 9日(土)	1日	知多	投擲
同⑧	2月10日(日)	1日	瑞穂	短・中・跳・障・歩
同⑨	2月23日(土)	1日	知多	投擲
同⑩	3月 3日(日)	1日	知多	短・中・跳・障・歩
ジュニア部 練習会①	平成31年 1月12日(土)	1日	豊川	
同②	2月17日(日)	1日	知多	
同③	3月中旬予定	1日	瑞穂	
全国 小学生陸上	8月18日(土)	1泊2日	日産 スタジアム	全国大会の引率指導
全日中参加者 練習会	8月11日(土・祝)	1日	瑞穂	
国体選手 リレー練習会	9月中旬	2回	瑞穂北 等	国体選手のリレー練習
ジュニア オリンピック リレー練習会	9月29日(土) はじめ4回程度	4回程度	知多等	JO選手のリレー練習
競歩教室	各月1回開催	9回	瑞穂 周辺	12・1・2月は除く

<指導者養成>

事業名	概要
日体協公認コーチ派遣	山田 恭義 (豊川市立西部中) 峯澤 義典 (西尾市立東部中)
医事部トレーナー研修会	8月下旬 3泊4日 日間賀島

<会議関係>

回数	選手強化委員会	駅伝部強化委員会	ジュニア部強化委員会	幹事会
1	4月21日(土)	7月上旬	9月10日(月)	5月下旬
2	7月15日(日)	11月上旬	11月下旬	8月上旬
3	8月上旬	2月上旬	12月中旬	11月下旬
4	11月下旬		3月28日(木)	
5	3月上旬			

記録・情報処理委員会

愛知県新記録等 同じ種目は最高記録のみ
(2018.1.1～7.7までに確認できた記録です)

《世界新記録・日本新記録・愛知新記録》

男子

100km 6.09.14 風見 尚 (愛三工業)
[第33回サロマ湖100kmウルトラマラソン(サロマ湖) 6/24]

《日本新記録・愛知新記録》

男子

円盤投 62.16 湯上 剛輝 (トヨタ自動車)
[第102回日本陸上競技選手権(維新100年記念) 6/24]

《愛知新記録》

男子

20kmW 1.19.17 及川 文隆 (東洋大)
[第101回日本陸上競技選手権20km競歩(六甲) 2/18]

《愛知タイ記録》

女子

100m 11.43 (+1.8) 市川 華菜 (ミズノ)
[布勢スプリント(布勢) 6/3]

《愛知高校新記録》

女子

1000m 2.55.73 細井 裕菜 (中京大中京)
[第8回中京大学土曜競技会(中京大) 2/17]
800m 2.05.68 細井 裕菜 (中京大中京)
[第102回日本陸上競技選手権(維新100年記念) 6/23]
棒高跳 3.85 塩崎 泉 (至学館)
[第10回山田隆記念大会(鴻ノ池) 3/18]
七種競技 5065点 伊藤 桃子 (中京大中京)
[第72回愛知県高校総合体育大会(瑞穂) 5/18]

《愛知中学新記録》

男子

300m 36.97 高橋 遼将 (TSM)
[第7回名古屋地区競技会(瑞穂) 3/21]

女子

300m 42.37 青山 理奈 (御幸山)
[第7回名古屋地区競技会(瑞穂) 3/21]

100mH (76.2cm_8.0m)
13.92 (-0.6) 松本佳音彩 (上社)

[第55回名古屋市中学校総合体育大会(瑞穂) 5/27]

100+200+300+400mR
2.18.70 御幸山中

(松本愛由・畠田百那・須崎心優・青山理奈)
[第15回愛知レディース(瑞穂) 7/1]

男女混合

4×400mR 3.46.92 御幸山中
(椋尾三太郎・須崎心優・青山理奈・桐山誠二郎)

[第64回全日本中学校通信陸上競技名古屋地区予選会(瑞穂) 6/17]
(石鎚 一則)

学校訪問③⑤ 時習館高校 東三河の伝統校

今回は、東三河の伝統校である時習館高校を訪問しました。学力はもちろんのこと、陸上競技の成績においても23年連続で東海大会へ進出しており、伝統校の名にふさわしい活躍を見せています。近々の活躍ぶりを紹介していきます。昨年の東三河の新人戦では、男子総合の部91点優勝(トラックの部 65点2位 フィールドの部 26点優勝)、女子総合の部92点2位(トラックの部 60点2位 フィールドの部 32点2位)。県の新人戦でも、男子が20点で総合の部で7位に入っています。今年の総体では、男子総合の部 56点2位(トラックの部 39点2位 フィールドの部 17点3位)、女子総合の部67点3位(トラックの部 44点3位 フィールドの部 23点2位)。こうした活躍を示している時習館高校を東三河の地区大会直後のゴールデンウィーク後半に訪問しました。

時習館高校のグラウンドに到着してまず驚かされたのは、その広さです。400mのトラックが取れる広さだけでも驚かされるのですが、8レーンが取れると思われる広さなのです。トラック内ではサッカー部とラグビー部が、トラックの南側ではソフトボール部が、松並木を挟んで北側では野球部が専用のグラウンドで、その隣にはハンドボール部がコート2面を使って活動をしています。さらにトラックの西側には、やり投の選手が投げの練習をすることができる芝の広がりもあります。陸上部の活動は他の部活と全くぶつかることはありません。時習館高校の強みは何と言っても、北海道の標茶(しべちゃ)高校に次ぐ全国で2番目の学校の敷地面積の広さにあると言えます。ただし、この広いグラウンドを使い勝手のいい状態で維持するには、それなりの努力が必要なのだそうです。顧問の加子勇先生は、重機に入ってもらって整備したことがあるし、はびこる草への対策も必要だとおっしゃっていました。



400mトラック



投てき練習スペース

さきほど松並木を挟んでと書きましたが、この松並木は絶好の休憩場所になっているように思われました。大木が枝を広げ、絶好の日陰を作っているのです。体感温度が日なたに比べて2~3度違うように思われる松の木陰は、追い込んだ練習の後にはもってこいの場所です。ハードな練習の癒しの場を提供する松並木の木陰も、「地の利」に含まれると私には思われました。



簡易照明

既存の「地の利」を利用しているだけかと言えば、そういうわけでもありません。手作りされた工夫もお見受けしました。東三河屈指の進学校である時習館高校では、職員会議のある木曜日を除いて7時間の授業が展開されています。そうすると、終業が4時を過ぎてしまいます。これでは、冬場には十分な練習時間を確保することができません。どうしておられるのかと疑問に思っていたところで紹介していただいたのが、簡易な照明(写真)です。市販品を活用して手作りの照明が設置されておりました。昼間の訪問ということでその威力を確認することはできませんでしたが、加子先生は、十分とは言えないものの練習時間の確保には役立っているとおっしゃっていました。

次に練習内容で目を引いたものを紹介します。一つ目は、ウォーミングアップに取り入れられていたエアロビクスです。音楽に合わせて運動が行なわれていました。時間は6~7分だったのでしょうか。これは時習館高校OGの鈴木亜由子選手の小中学校時代のコーチであった方が考案されたものとお聞きしましたが、それだけに陸上競技の動きがふんだんに取り入れられていました。アップテンポな曲に合わせて陸上競技に連なる動きを行なうことで、知らず知らずのうちに滑らかな身のこなしができていくのだろうと思われました。毎日行なうものではなく、練習時間を長く取れる日や冬場に短時間で体を温めたい時、また雨の日のメニューに取り入れているとのことで、多くの学校で行なわれているドリルと同様の効果が得られているのではないかと思われました。本練習前のドリルそのものにも十分な時間が割かれていました。器具を使わないものから、ミニハードルを利用したもの、ハードルを利用したものなど内容も多岐にわたっており、加子先生が基礎基本を重視されていることがうかがわれました。



エアロビクス



ミニハードルドリル

本練習は種目に別れてのものでしたが、その準備からして全く無駄な時間が流れることなく練習が行なわれていきました。先に東三河屈指の進学校と書きましたが、陸上競技においても意識が高いと思われました。その中に女子のハードルの2人が指摘しあいながら練習に取り組んでいる姿がありました。選手どうしのコミュニケーションも強さの秘訣なんだろうと私は受け止めました。

練習後のミーティングでは、23年連続で東海大会に進出していると加子先生は伝統を強調しておられました。先輩から後輩へと引き継がれる中に力が生まれてくると私も思っています。後日の結果は、県大会で男子3名(800m、走幅跳、三段跳)が入賞し、総合の部でも11点8位となりました。女子も1名(走幅跳)が入賞し、24年連続と伝統はさらに引き継がれました。そのうえ東海総体では、800mの筒井航佑選手(1.53.78 3位)と女子走幅跳の小林はづき選手(5m68 5位)がインターハイへの切符をつかみました。全国大会での活躍を期待します。

(取材文責・写真 大西敏功)

女性委員会

第15回愛知県レディース陸上競技大会が6月30日(土)7月1日(日)パロマ瑞穂スタジアムで開催されました。今年は、一般・大学・高校の部に約450名、中学の部に約330名と、大変多くの参加となりました。2日間とも暑い日となり、またトラック競技においては強い向かい風で記録を出すには少し残念な状況となってしまいました。しかし、共通メドレーリレー(100m + 200m + 300m + 400mR)では、御幸山中学校(松本愛由・鳥田百那・須崎心優・青山里奈)が県中学新記録となる2分18秒70とこれまでの記録を大きく上回る記録で優勝。大会新記録においては、共通棒高跳で二人の新記録を初めとして、7種目8個樹立されました。今後の大会に向けて良いステップになることと思います。今年も協賛で、MilkyWay様(名古屋市中区)より、とてもかわいく素敵な花束を優勝者全員にプレゼントしていただきました(写真)。レディース大会ならではの表彰式をすることができたことに、本当に感謝しております。ぜひ、皆様もお店にもお立ち寄りいただけたらと思います。今年も素晴らしい大会で終了できたことに大変感謝しております。暑い中、審判をしていただいた多くの大会役員の皆様、参加していただいた多くの選手の皆様にも感謝いたします。ありがとうございました。



スウェーデンリレー優勝の御幸山中学校



ミルクィーウェイの花束

最後に、今年大会2日目に長野陸上競技協会女性部の方4名が大会の視察にみえました。大会中に各部署へも回って大会の様子を見ていただきました。また、この視察については次号で述べさせていただきます。

(谷崎 好美)

年誌資料・広報委員会

「名古屋ウィメンズマラソン」がJOC「女性スポーツ賞」を受賞
4月のJOC理事会で、「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知組織委員会」が平成29年度のJOC「女性スポーツ賞」を受賞したと、名古屋ウィメンズマラソン事務局の岡村徹也様より連絡がありました。多くの女性をマラソンに参加させ普及させたことのみならず、ピンクリボンやホワイトリボン運動を行ない、社会貢献活動も実施したとしての受賞だそうです。ウィメンズマラソンを主管する愛知陸上競技協会としては、大変栄誉なことと大いに喜びたいと考えます。なお、授賞式は6月8日に行なわれたそうです。

44号P4の施設用器具の記事の写真②がパロマ瑞穂北競技場ではなく、豊橋市陸上競技場の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

(新見 精三)

財務委員会

財務委員会では、一般財団法人愛知陸上競技協会平成29年度会計監査を6月1日(金)に、若松良一、永田敏也の2名の監事により実施しました。監査の結果、適正な会計処理が実施されていることが確認されました。

協会の仕事は一般的に、大会の実施や、選手の派遣、育成・強化が中心となりますが、これらの事業や選手の強化を支えるのも財務委員会の仕事です。愛知陸協の登録者数は、中学生から一般まで男女合わせて、21,417名(29年度実績)と、全国でもトップレベルの競技者数を誇ります。愛知選手権を始めとする主催大会が17、名古屋ウィメンズマラソンなどの共催大会が8大会あり、これらの大会を運営するための審判員の登録者数が1,732名(4地区合計)にのびます。審判を支える補助員を合わせると、実に多くの人々の力で各大会が運営されています。こうした数からすると基盤がしっかりしているように思われるかもしれませんが、しかしながら、当協会が主催する17大会のうち、11の大会が会社で例えると赤字であり、決して裕福な財政状況とは言えません。大会の運営にご参加いただく、審判員や補助員の皆さんの、まさに手弁当により運営がなされていると言っても過言ではありません。

そのうえ本年度は、当協会の事務所である千代田ビルが、耐震性の不足から取り壊しになり、他のビルへの移転を余儀なくされます。このため、移転に伴う費用が新たに発生することが分かっています。

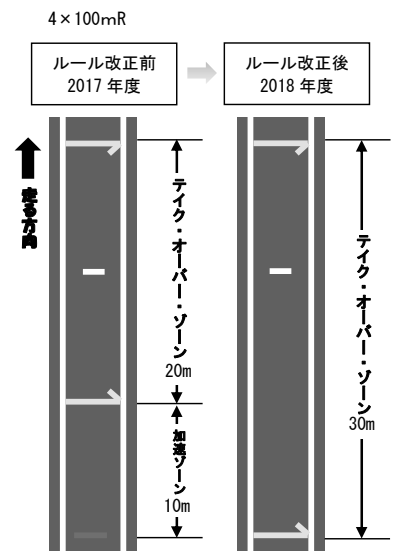
財務委員会としましては、これからも経費削減を図りつつ運営する大会の発展と、選手の強化育成に寄与できるよう努力していきたいと考えています。(蟹江 勇)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

名古屋地区のメイン競技場であるパロマ瑞穂スタジアムは日本陸上競技連盟(JAAF)の公認を受けている第1種公認競技場です。また、国際記録の公認が取得できるよう、国際陸上競技連盟(IAAF)の競技場規格である「クラス2」を取得しています。そのため競技場内の基準となるラインが国際規格となっています。

今年度のルール改正の中に、リレーに関する改正のひとつとして、バトンパスが行なえるテイク・オーバー・ゾーンが20mから30mに変更されたことがあります。このルール改正に伴いトラック上のマーキング(ラインなど)も変わり、



テイク・オーバー・ゾーンの入口のマーキングが10m スタート方向に移動します。(図)

第170条19.「すべてのバトンパスにおいては、テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、そのゾーンの中でスタートしなければならない。この規則に従わなければ、そのチームは失格となる」これは全てのリレーに適用されます。

今後このルールを理解して、記録更新を旨として頑張る姿が競技場で見られ、さらに盛り上がることを期待します。

今年も多く選手に名古屋地区の競技会に参加していただいています。その中でも投てき競技においては参加者の増加に伴い、同時に二カ所での投てき競技を行なうため、競技役員の皆様にはご迷惑を掛けています。また投てき物が不足する事態も見られたので、今後の検討事項として取り組んでいきたいと思ひます。(南 康次郎)

尾張陸上競技協会

尾張陸協は今年度も昨年までとほぼ同一の役員体制(理事2名交代)でスタートしました。

今シーズンは、愛知県一宮総合運動場陸上競技場(いちい信金スポーツセンター陸上競技場)が9月より更新工事に入るため、過密な日程で競技会等が組まれています。例年とは違う時期に実施する大会等もあるので、申込みなど、遅れないようにお願いします。その中でも新たな試みとして、5月27日(日)に2018愛知パラ陸上競技フェスティバルが行なわれました。WPA未公認とは言え、多くの感動を与えてくれました。通常の競技会とはかなり違い、戸惑うことばかりでしたが、今後のパラリンピック競技の普及と理解、楽しめる環境作りが東京2020パラリンピックにつながると思ひました。

この時点での全国大会出場は以下の通りです。

全国高等学校総合体育大会

男子800m 田中 悠暉(岩倉総合)
男子走幅跳 藤田 匠海(津島)
女子ハンマー投 林 みなみ(一宮北)

残念ながら今年度は昨年の7名から3名とインターハイ出場者は減ってしまいましたが、それとは逆に嬉しい出来事も二つありました。一つ目は、日本選手権です。尾張地区の関係者が、3人も誇るべき結果を残してくれました。筆頭は、ハンマー投の墨 訓熙選手(起工業高→中京大→小林クリエイト)です。6投目に自己記録更新の70m63をたたき出し、逆転での優勝でした。二人目は、やり投の坂本達哉選手(一宮南高→大阪体育大)です。彼も6投目に自己記録を更新する77m33を投げ、2位に入りました。3人目は400mHの真野悠太郎選手(滝高→名古屋大)です。予選を49.50の自己記録で通過して、決勝は7位でした。尾張地区の関係者では、800mの笹野浩志選手(丹羽高→立命館大→富士通)が2000年、2002年、2003年と三度チャンピオンに輝いたことはありますが、3人が優勝、入賞したのは初めての事です。二つ目は、競歩の小林貫太選手(丹羽高)がユースオリンピックの代表に選出されたことです。4月に行なわれた輪島大会での10km42.42の記録が評価され、全国で20人の代表選手の中に入りました。まずは、7月4・5日のバンコクでのアジア予選大会(10000mW)に臨みます。予選大会を突破できれば、10

月6日から18日にかけて行なわれる第3回ユースオリンピック競技大会(ブエノスアイレス)に出場することができます。ぜひとも、世界大会への切符を手にしてほしいものです。

続いて今回も尾張陸協の運営上の工夫を紹介しますが、競技会運営についてはありません。協会運営上のもので、古くから尾張陸協では、役員ならびに審判員の交流を深め、絆を強



立食パーティー

めるために年度の終わりに懇親会を開いてきました。しかし、会席の堅苦しい雰囲気や敬遠感、また会費が問題だったのか、出席の回答が少なく開催を断念した年もありました。そこで7年前から形式を改め、増えてきた若手の審判員も参加しやすいように立食形式のパーティーとしました。会費のハードルが消えたからか、ざっくばらんな雰囲気が良かったのか、出席者が年々増加して盛り上がりのある会となっております。昨年度は80名を超える出席でしたが、一宮駅前のクラシックホテルの手狭な会場から3年前に駅ビル(iビル)の最上階に会場を移していますので窮屈さはありません。毎年ビンゴゲームがプログラムに入っているのですが、1等2等の県営総合運動場の利用回数券を旨とする争いは大変盛り上がりします。

毎年の内容に加え、今回は二つの慶事が懇親会に花を添えました。一つ目は、尾張陸協小島末廣会長の秩父宮章受章のお祝いです。尾張陸協を挙げて受章を讃え、小椋征弘顧問から記念品が贈呈(写真左)されました。二つめは、宮本 智審判員への東京五輪審判員認定証書の授与です。宮本さんは県内で選ばれた6人のうちの一人で、講習会を経て試験にも合格し、愛知陸協に認定証書が届いておりました。稲垣 裕専務理事が会場にお越しくださって、認定証書の授与(写真右)が行なわれました。今回は、楽しみを味わう会というばかりでなく、出席者が誇りを感じる機会ともなりました。



秩父宮章受章記念品贈呈



東京五輪審判員認定証授与
(青山 充資)

西三河陸上競技協会

4月7・8日の三河記録会を皮切りに、今年度の活動がスタートしました。昨年・一昨年と各年代とも、大活躍してくれた良い流れを絶やす事なく、本年度も活躍してくれると確信しています。

本年度の全国大会は、全日中は岡山県、インターハイは三重県で開催されます。6月16・17日には、中学通信陸上の西三河予選会が開催されました。本年度も全国へ向けて期待できる種目は幾つかありますので、今後の競技結果を楽しみに待ちたいと思ひます。

高校においては、インターハイ東海地区予選会が6月15～17日に伊勢市で開催されました。

男子

4×400mR	4位	坂本 悠	岡崎城西
		藤井 裕也	
		中谷 将麻	
		中谷 竜麻	
走高跳	優勝	宇野琳太郎	安城学園
	5位	佐藤 拓仁	岡崎城西
	6位	田中 日向	安城学園
棒高跳	3位	榊原 圭悟	岡崎城西
円盤投	5位	光岡 奨平	安城学園
ハンマー投	2位	佐々木秀斗	安城学園

女子

200m	3位	村木 未澪	安城学園
1500m	優勝	藤中 佑美	光ヶ丘女子
	2位	山本 有真	光ヶ丘女子
3000m	優勝	藤中 佑美	光ヶ丘女子
	2位	山本 有真	光ヶ丘女子
	4位	城所 日和	岡崎学園
4×100mR	4位	渡部 純果	安城学園
		村木 未澪	
		濱山 瑞希	
		中山 愛理	
	5位	竹崎 郁乃	岡崎城西
		山口こころ	
		花井 聖	
走高跳	優勝	小笠原早矢楓	安城学園
	5位	塩澤日菜子	岡崎城西
	6位	千葉 玲央	岡崎城西
棒高跳	4位	渡邊 南月	岡崎城西
三段跳	3位	都築 陽奈	三好
円盤投	3位	近藤 未空	安城学園
ハンマー投	4位	大久保春香	安城学園

上記の結果、5校・14種目延べ31名の選手が入賞インターハイ出場権を獲得しました。本年度の目標として一校でも多くの学校の参加をと考えていましたので、その点がやや残念なところです。しかし今年度も上位入賞が期待できる種目もありますし、地元同様の開催地ですので多くの関係者・応援団が駆けつけてくれると思います。日ごろ努力して来た実力を遺憾なく発揮してくれると期待しています。

近年、西三河陸協主催以外の大会を含め大会が多くなり、審判等で運営に協力していただいている方にはご負担をかけますが、引き続きよろしくお願い致します。特に、ウェーブスタジアム刈谷競技場においては、毎年過密スケジュールとなりご迷惑をかけています。競技場使用頻度の緩和も重要な課題ですので、前回の広報で紹介しました現在建設中の岡崎市営競技場の完成を心待ちにしています。

愛知の陸上競技の発展に貢献してきた、安城市営競技場

(現在4種)においても、通常の大会が開催できる3種競技場として改修していただくべく、署名活動・関係団体への陳情などを安城陸協を中心に検討中です。

今後も、多くの方々のご意見・ご協力を得ながらより良い競技場となる事を願っています。(柴田 和秀)

東三河陸上競技協会

平成30年度主な役員一覧表(平成30年4月7日 東三河地区総会)

会 長	夏目 輝久	
副 会 長	白井 良三 ・ 伊藤 朝一 ・ 伊藤 博之 杉浦 吉晴 ・ 千葉 正士	
理 事 長	兵藤 重二	
副理事長	仲井 雅弘	
理 事	小・中・高・一般・地区代表・女性の各理事を選出	
会 計	山本 陽子	
秘 書	中西 征裕 ・ 山本 誠司 ・ (鈴木俊也)	
専門委員長	総 務	山本 誠司
	競 技	横地 勝
	審 判	鈴木 俊也 ・ 今川 智博
	記 録	鈴木 信弘
	施 設	中村 昭広
	強 化	鈴木 克哉
	マスターズ	畠中 一起

上記のように平成30年度の東三河陸上競技協会の役員が決まりました。

第44号広報誌で報告させていただきました「陸上競技場メインスタンド等の整備」についてのその後の経緯ですが、30年3月25日(日)第9回穂の国・豊橋ハーフマラソン大会スタート前に豊橋市に關係の深いオリンピック3名(船井照男さん・岩水嘉孝さん・鈴木亜由子選手)を迎え、リニューアルオープンの式典を行ない、平成30年4月1日より供用を開始いたしました。



リニューアルオープンした豊橋市陸上競技場

【平成30年度の主な目標】

- 豊橋市陸上競技場の広報活動を行ない、利用者の増員を図り、東三河地区の選手育成の一翼を担えるようにする。
- 豊橋市陸上競技場内のコンディショニングルームを積極的に活用して、近い将来に東三河陸上界のみならず、日本・世界へ羽ばたけるようなジュニア選手の育成を図る。
- 2020年東京オリンピック・2024年・28年オリンピックへの短期・長期の選手育成の強化を図る。
- 高校総体・全日中・定通制・小学校・マスターズ等の全

国大会への多数出場を旨ず。

- 記録処理のIT化をより進め、陸上競技大会の正確で迅速な情報の提供を図る。
- 研修会・講習会・全国大会などへ選手・会員を派遣して、選手及び会員の資質向上を図る。
- 審判回数の多い会員への褒賞制度を検討する。
- 2年前に設置したトレーナー部会の活性化と充実を図る。
- 東三河陸協が協賛しているFM豊橋の番組「チャ・RUN・ポ・RUN」において、陸協の活動を積極的に宣伝する(毎週月曜日に陸協役員が出演)。
- 公認審判員の資格取得者増員とそれに伴う支援(講習会への旅費の補助)を継続する。(夏目 輝久)

にて行なわれます。

本大会では、共通女子4×100mRにおいて、51秒50と大会新記録が出ました。この記録は、昨年度の全国大会では優勝レベルです。全国大会での活躍が楽しみです。

男子

種目	氏名	所属	記録
4×100mR	丹羽 咲弥 平林 駿登 近藤 淳貴 百崎 蒼汰 山崎 鉄馬	安城 JAC	52.22
5年100m	水野 賢仁	なごや陸上クラブ	13.20
6年100m	久野 聡	上郷 JAC	12.75
80mH	鈴木 誠太郎	TSM	12.89
走高跳	佐々木 哲	TSM	1.30
走幅跳	梶山 泰輔	愛知ハイテク AC	4.65
ジャベリックボール投	鬼頭 孝征	JAC あつみ	56.90

関係団体報告

小学生友の会



より遠くへ！ロングジャンプ！ 駆け抜ける！80mハードル走
平成30年6月24日(日)パロマ瑞穂スタジアムにて、全国小学生陸上競技交流大会愛知県予選会が行なわれました。近年、愛知県予選会の競技レベルの向上が著しく、愛知の予選を通過した選手が全国で優秀な成績を取っています。今年、8月17日(金)・18日(土)に日産スタジアム

女子

種目	氏名	所属	記録
4×100mR	眞田 あこ 高津 采里 渡辺 葉夏 佐藤 俐有 花井 愛唯	田原陸上クラブ	51.50
5年100m	三輪 琉姫	トライル AC	13.80
6年100m	加藤 愛菜	豊橋陸上クラブ	13.32
80mH	杉藤 葵	AC一宮 K	12.59
走高跳	野畑 那月	TFC半田	1.30
走幅跳	水野文由里	TSM	4.56
ジャベリックボール投	中村 文香	TSM	48.57

ホープさん 38

井戸アビゲイル風果 選手(至学館高2年)

井戸選手は入学以来、至学館高校で陸上競技に集中して取り組んでいます。今までよりも一つ上の走りを目指し日々練習を行なっています。

昨年度の平成29年度は、女子200mで第18回アジアジュニア陸上競技選手権大会3位入賞でしたが、U18日本陸上競技選手権大会は4位入賞という結果にとどまりました。しかし今年度は6月に開催された東海高等学校総合体育大会において、100m2位入賞・200m優勝・4×100mR優勝・4×400mR4位という結果を残しました。基礎を大切に冬場にしっかり体作りを行なってきましたので、大きな怪我もなくトラックシーズンを迎えることができました。3月よりトラックレースをスタートさせ、試合を重ね今に至っています。

同じ高校に東海大会女子200m2位入賞の大城珠莉、5位入賞の田中海米がおり、切磋琢磨する環境にあります。すでに100mで11秒台、200mで23秒台を狙うところに充分来ていると思われます。今年のIHでは200mと4×100mRの優勝を旨します。そして、4×400mRは昨年の雪辱すべく全力かつ繊細に、伊勢のトラックを駆け抜けるはず。アビちゃん(本校では親しみをこめて皆にこう呼ばれています)がどんなパフォーマンスを見せてくれるか今から楽しみでなりません。



頑張れアビちゃん!!! (奥川 渉)

東海総体4×400mRアンカー

200m2位大城選手・1位井戸選手

小学生の普及活動とともに、子どもたちの成果を発表できる競技会の環境を整えていきたいと思ひます。

(佐々木博幸)

でお困りのことなどがありましたら、所属の地区運動部員までお声をお聞かせください。先生方の思いを少しでも中小体連の活動に反映できればと考えております。

(佐橋 弘晃)

中小体連

今年度は、昨年に引き続き、1月5日(土)・6日(日)に日本陸連主催のU16東海ブロック合宿を本県で開催いたします。各方面の先生方にはお支えをいただく場面も多くあると思ひますが、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

6月13日(水)愛知県教育会館において、今年度、第1回の中小体連陸上競技部会を開催いたしました。活動方針、主催大会の運営、愛知陸協より絶大な支援を頂いている強化委員会ジュニア部の事業計画等を議題として行ないました。この紙面上において活動方針、組織を紹介させていただきます。

○活動方針「陸上競技の振興に努力する」

1. 主催【総体、駅伝】・共催大会【通信】、主催事業【ブロック合宿】の成功
2. 長期的視野に立った「オール愛知」体制の構築

○組織(氏名左の新、所属の下線:今年度より)

部長	木全 和代(大高中校長)
副部長(委員長)	佐橋 弘晃(扇台中)
監事	丹羽 智行(守山東中)
総務部長	高木 淳(永和小)
総務部委員	本多 君徳(前林中)
(財務担当)	三尾麻由美(長良中)
競技運営部長	秋山真一郎(大高中)
競技運営部委員	
	競技: 森田 晃司(阿久比中)
	(新) 堀 信太郎(木曾川中)
	駅伝: 横内 隆之(羽田中)
	山田 恭義(豊川西部中)
	審判: 柴田 卓也(高蔵寺中)
	本多 君徳(前林中)
	情報: 谷口 直土(御幸山中)
	(新) 平野 達也(愛知淑徳中)
	杉浦 大作(岡崎北中)
強化部長	谷口 直土(御幸山中)
強化部委員	粥川 浩司(長良中)
	佐橋 弘晃(扇台中)
	(県中小体連強化部=愛知陸協ジュニア部)

また、会に先立ち、県中小学校体育連盟の顕彰式が行なわれ、顕彰状を授与されましたので、ご披露させていただきます。

守山東中 丹羽 智行 先生

(県中小体連陸上競技部専門委員長・副部長・運動部員、通算10年)

引き続き、中学生における陸上競技の普及と育成のため日々指導に当たられている指導者の先生方、そして愛知陸協の先生方とともに「選手ファースト」の観点に立って、推進していきたいと思ひております。競技会運営や、指導

高体連

平成30年度全国高校総体(三重大会)に向けて

本年度の全国高校総体は、地元東海地区の三重県スポーツの杜伊勢陸上競技場にて8月2日より開催されます。4月より愛知県下6支部の予選会から始まったインターハイへの道のりも、6月15日から3日間全国大会の行なわれるスポーツの杜伊勢陸上競技場で開催された東海高校総体にて代表選手が決定しました。一昨年、昨年と愛知県は、過去最大の152名の全国大会出場者を出すことができました。本大会は三重県が地元での全国総体開催に向け、相当な強化を図っているであろうという予測のもと大会に臨みました。その予想どおり、三重県勢は優勝種目こそ増えませんでした。昨年度のほぼ倍増の入賞者数を獲得する活躍をしました。このことについては大いに讃えるとともに、今後の愛知県の参考にしていかなくてはならないと強く感じました。愛知県勢は、男子の優勝数が4種目から8種目に増えました。女子は昨年度が20種目中19種目の優勝でした。本年度は減少しましたが、14種目において優勝しました。リレー種目では2種目合わせて女子が9チーム、男子が6チームの入賞でした。ここ数年、女高男低の結果になっています。男子の奮闘に期待するとともに、強化についても考えていかなくてはならないと感じました。その中で、男子の名古屋西高校が4×400mRで公立校初となる優勝をしました。昨年度の東海新人大会でも優勝していましたが、大きな成果でありました。また、4×100mRでも40秒99で入賞しました。後藤先生のご指導の賜物と敬意を払いたいと思ひます。表のように延入賞数は男子41、女子61、合わせて102になりました。昨年度から少し減少しています。先述のとおり三重県の奮闘に押された結果であると思ひます。全国総体参加者数は男子64名、女子87名、総勢151名になりました。過去最多は一昨年、昨年の152名ですので入賞数は減少しましたが、ほぼ同数の参加人数です。全国大会での活躍を大いに期待したいと思ひます。個人としては女子棒高跳で至学館高校の塩崎選手が3m80の大会新記録、女子400mHで明和高校の佐竹選手が1分00秒67で同じく大会新記録を樹立し優勝しました。光ヶ丘女子高校の藤中選手が1500m、3000mの2種目優勝。男子では、豊川高校の伊奈選手が400m、400mHの2種目で優勝をしました。総合の部も女子は至学館高校、男子は豊川高校が優勝しました。昨年度の中京大中京高校のアバック優勝に引き続き、愛知県勢が総合優勝をすることができました。その他個人種目で有望選手がここ数年にないくらい多数います。全国優勝を目ざし頑張っていたいただきたいと思ひます。

一方で、本年度の全国大会不出場種目は男子が110mH、5000mW、三段跳の3種目でした。女子は砲丸投でした。男子は得意としていた種目での敗退であり、無念さが大いに残りました。愛知県を挙げて頑張っていかななくてはならないと感じました。これから大会に向けての各学校の選手の頑張りと顧問の先生方のご指導を期待します。

最後になりましたが、高体連としてもできることを、各

学校と連携しながら頑張っ実践し、今後も努力を続けていきたいと思います。

東海総体入賞者数県別比較

()内は昨年度、本年度から女子3種目追加

県名	男子	女子	リレー	合計
愛知	41 (49)	61 (66)	15 (14)	102 (115)
静岡	31 (39)	30 (32)	5 (6)	61 (71)
岐阜	16 (16)	4 (9)	1 (2)	20 (25)
三重	38 (22)	25 (13)	3 (2)	63 (35)
総数	21種目 126	20種目 120	4種目 24	41種目 246

※全国出場権 混成競技3位まで。競歩は4位まで。女子追加種目(棒高跳・三段跳・ハンマー投)は4位まで。

(石井 哲郎)

高体連定通部

全国定通大会 目指せ!男女総合優勝4連覇

県定通大会が6月10日(日)に知多で開催されました。強雨も予想されましたが幸いにも小雨程度で済み、まずまずのコンディションの中、齋藤美佳選手(科技高刈谷)が100m・200mで大会記録を更新しました。両種目ともに昭和60年代の記録を更新するとともに、全国大会での活躍が期待される好記録で、大会最優秀選手に選出されました。齋藤選手はこれまで4×100mRでの優勝や、200mで2年連続3位になるなど好成績をあげていますが、まだ個人では頂点に立っていません。自身にとって最後の全国大会で、ぜひ成し遂げてほしいと思います。



力走する齋藤選手

この県大会で好成績を取めた47名が愛知県代表として、8月10日(金)～12日(日)に東京・駒沢オリンピック公園陸上競技場で開催される全国定通大会に出場します。男子は伊藤隼隆選手(科技高刈谷)、女子は齋藤選手がキャプテンを務める愛知県勢は、男女総合四連覇がかかっています。圧勝した昨年に比べて今年は苦戦必至ですが、個々の力を大舞台でしっかりと発揮できるのが愛知です。これまでの積み重ねによる総合力を発揮して、優勝旗と賜杯を今年も愛知県に持ち帰ります!

「チーム愛知」にご声援とご期待のほどよろしくお願いたします。

(野口 武則)

学連

カレッジレベルから世界へ

オリンピックや世界選手権の開催年ではない2018年シーズンは、世界のトップ選手は休養年として過ごすケースが多く、日本選手権と同時期に開催されていた全米選手権では上位選手の不出場が目立った。一方、山口県で開催された今年の日本選手権では、大会最終日に2種目で日本記録が更新され、東京オリンピックに向けた次世代のスターが誕生した。新記録のうちの1つ、男子円盤投の湯上剛輝選手(トヨタ自動車)は中京大学の卒業生で、つい3年前までは白地に「C」ロゴのユニフォームを着ていた選

手だ。未だ日本人の60mスロワーは少ないが、昨年樹立されたばかりの日本記録を湯上選手は一気に62m台まで伸ばし、アジア大会代表に選出された。現役大学生の活躍が目立った今大会では、女子棒高跳の南部珠瑠選手(中京大)と女子1500mの高松智美ムセンビ選手(名城大)がそれぞれ初優勝した。

記録更新という意味では、5月に開催された東海インカレでは、女子三段跳の浅野紗弥香選手(東海学園大)は、1996年に安田紀子氏(中京大)が樹立した大会記録を22年ぶりに塗り替えて2連覇を達成した。また、同大会男子十種競技の歴代優勝者は、1993年大会以来、中京大生が連覇してきたが、今年は乾颯人選手(皇學館大)が初優勝し、中京大勢にストップをかけた形となった。昨今、いわゆる老舗と呼ばれる大学と台頭してきた東海地区の新勢力との間で種目によっては勢力図が徐々に変化している。

カレッジの舞台から日本代表を狙うレベルでは、昨年、16m20の東海学生記録を樹立した中山昂平選手(中京大M1)は、セイコーグランプリ(長居)に出場し、海外からの招待選手と同じピットで競い合う経験を積んだ。

6月7日～10日(岐阜メモリアル)に開催されたアジアジュニア選手権では、先述の高松選手が1500mで銅メダル、和田有菜選手(名城大)が3000mで銀メダルをそれぞれ獲得した。男子では、ハンマー投で服部優允(中京大)選手が銅メダル獲得、中村美史選手(中京大)が4位という結果をおさめた。

2018年シーズン上半期は、種目間で競技力に偏りはあるものの、各大学が有する伝統や競技環境を生かした選手強化が形となっている印象である。6月最終週から始まる西日本インカレ(沖縄)、9月の日本インカレへ向けた強化に明るい兆しが見えてきた。

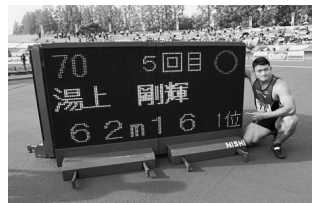
(黒須 雅弘)

実業団

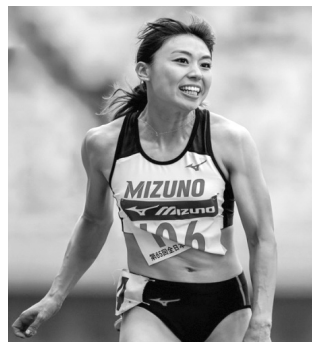
トラックシーズン前半を終えて

やはり今年度はジャカルタで行なわれるアジア大会が最大の目標とも言えます。アジア大会予選を兼ねた第102回日本陸上競技選手権大会が、山口県の維新みらいふスタジアムで行なわれました。

その中で、男子の活躍が目立ちました。まず、男子円盤



5回目に日本新をマークした湯上選手(トヨタ自動車)



山本選手5m70をクリアー

100m3位、200m2位の市川選手

投の湯上剛輝選手（トヨタ自動車）が自己記録を約3mも更新する62m16の日本新をマークして優勝しました。棒高跳の山本聖途選手（トヨタ自動車）も5m70をクリアして2連覇。5000mの服部弾馬選手（トーエネック）もラスト200mで抜け出して初優勝。ハンマー投の墨 訓熙選手（小林クリエイト）も70m63を投げ初優勝を飾りました。

女子では、昨年の日本選手権で100m・200mの2冠を達成した市川華菜選手（ミズノ）が100m3位（11秒67）、200mは2位（23秒83）に入ったのが目立った成績で、今後の愛知実業団女子の活躍を期待します。

一方、第33回サロマ湖100kmウルトラマラソンでは、愛三工業の風見 尚選手が20年ぶりに従来の記録を4分19秒更新する6時間9分14秒の世界最高記録を樹立しました。今後の活躍がさらに期待されます。（中村 博之）

マスターズ陸上

愛知マスターズ陸上競技連盟、通称、愛知マスターズは、年1回の選手権大会と年4回の記録会をウェーブスタジアム刈谷で開催しています。今年度は4月21日（土）に記録会、5月20日（日）に東海マスターズ陸上競技選手権大会、そして6月23日（土）、7月29日（日）、8月12日（日）に記録会を行ないます。7月29日（日）には、記録会終了後13時30分から「みんなの陸上教室」を開催しますので、参加希望される方は、katsu-s@hm8.aitai.ne.jpにお気軽にお問い合わせください。

また、9月22日（土）～24日（月）に、鳥取のコカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク（布勢総合運動公園陸上競技場）で全日本マスターズ陸上競技選手権大会が行なわれ、さらに11月18日（日）には地元愛知の愛・地球博記念公園（モリコロパーク）で都道府県対抗全日本マスターズ駅伝競走大会が行なわれます。今年度も愛知県の選手の活躍が期待されます。応援をどうぞよろしくお願いたします。

第17回 東海マスターズ陸上競技選手権大会成績表 2018.5.20 ウェーブスタジアム刈谷（愛知県分：GR以上） 男子

クラス	氏名	記録	備考
200m	M25 阿部 誉史	23.15	大会新
	M50 小高 孝二	23.74	日本新
400m	M25 阿部 誉史	51.15	大会新
	M35 本田 直也	52.59	大会新
800m	M24- 永山 周輝	2:01.97	大会新
1500m	M85 玉置 久	17:22.49	大会新
80mH	M70 小島 登行	15.79	大会新
110mH	M30 松橋 祐太	18.38	大会新
4×100mR	M50 チーム愛知 ダンディ	46.04	日本新
	小高 孝二	徳永増美津	
	渡辺 実	奥山 雄一	
	M70 愛知 M70	1:02.61	大会新
棒高跳	足立 和男	外山 修	
	児玉 明	小島 登行	
	M25 一ノ瀬 航	4.20	日本タイ

	M70 児玉 明	2.10	大会新
ハンマー投	M75 山田 博嗣	45.63	大会新
重量投	M75 山田 博嗣	14.38	大会新
	M80 近藤 陽洲	9.25	大会新

女子

クラス	氏名	記録	備考
60m	W25 松井 美樹	8.21	大会新
100m	W24- 本田ありみ	15.03	大会新
	W25 松井 美樹	12.90	大会新
200m	W24- 本田ありみ	31.40	大会新
	W25 松井 美樹	27.22	大会新
400m	W25 宮島はづき	1:05.58	大会新
	W60 長尾 典子	1:18.17	大会新
800m	W60 中山 淳子	2:46.10	大会新
	W60 東 二三子	3:10.14	大会新
1500m	W24- 齊藤 麻希	6:20.76	大会新
3000m	W60 中山 淳子	5:26.46	日本新
	W60 中山 淳子	11:35.89	日本新
80mH	W60 木村 和代	17.53	大会新
3000mW	W40 今井 優子	21:54.59	大会新
	W60 松原 良子	21:01.87	大会新
砲丸投	W90 長谷川政子	4.63	大会新
円盤投	W70 加藤 敦子	23.09	大会新
	W80 羽根田富美子	8.94	大会新
	W90 長谷川政子	8.65	大会新
ハンマー投	W80 羽根田富美子	10.15	大会新
やり投	W60 安田実知子	21.35	大会新
重量投	W55 山田 美智	9.00	大会新
	W80 羽根田富美子	4.04	大会新



M50 4×100mRメンバー M50 小高選手 M60 中山選手
(永山 宏智)

OB・OG会

7月14日パロマ瑞穂スポーツパーク・ラグビー場会議室において、平成30年度愛知陸協OB・OG会定時総会をパロマ瑞穂スポーツパーク所長 伊藤文夫様を初め多数のご来賓のご出席をいただき、会員42名の出席者で開催いたしました。前年度の事業報告と会計決算、今年度の事業計画とそれに伴う予算を世話人から提案、会員の皆さんのご承認を得て総会は無事終了しました。その後、同会議室で和やかな雰囲気の中に懇親会を行ないました。お疲れさまでした。

秋には古典芸能の鑑賞を予定しています。多くの参加を

お待ちしております。



寿杯を受けた会員

(水野 久)

男子	走幅跳	7.24	梅谷 太紀	2	名古屋西高
	三段跳	13.78	梶川 凌平	3	南山大
	砲丸投	11.68	小山祐一郎		みかん山
	円盤投	42.89	岩野 祐希	4	至学館大
	ハンマー投	45.72	安藤 佑馬	M1	至学館大
	やり投	57.77	蔭浦 隆博		トヨタ自動車
男子高校	3000mSC	9.15.04	岡内 雅矢	3	中京大中京高
	砲丸投	14.09	春日井貴裕	3	市工芸高
	円盤投	42.79	田中 尚弥	3	市工芸高
	ハンマー投	56.42	鈴木健太郎	3	名古屋大谷高
男子少年	110mH	15.22	森澤 翔尉	2	中京大中京高
男子少年	砲丸投	9.93	上村 勇輝	3	TSM

競技会報告

2018 国体選手選考・強化普及競技会

2017年4月14日(土)・15日(日)
パロマ瑞穂スタジアム・パロマ北競技場

※1位のみ

	種目	記録	氏名	学年	所属
男子	100m	10.46	高橋 周治	5	愛知医科大
	200m	21.81	服部 辰也		小島プレス
	400m	49.04	浅井 良	2	京都大
	800m	1.50.74	鳥居 風樹	3	中京大中京高
	1500m	3.58.51	嶋津 航		名古屋学院ク
	5000m	15.23.25	三浦 真和	3	岡崎城西高
	110mH	14.60	吉村 健吾		愛知陸協
	400mH	53.54	深谷 隼斗	3	愛知学院大
	5000mW	21.41.23	鈴木 智大	1	名古屋大
	4×100mR	42.54	竹内 大和	2	中京大中京高
			服部 匡恭	3	
			鈴木 大河	1	
			清水 章吾	2	
	4×400mR	3.22.78	川村 涉斗	3	岡崎城西高
			高畑 永遠	2	
			中谷 竜麻	3	
			岡本健太郎	3	
	走高跳A	2.04	水谷 来	4	中京大
	走高跳B	1.85	今井 駆	3	古知野中
棒高跳A	4.90	増田 智也	3	中京大中京高	
棒高跳B	4.00	寺澤 健臣	2	一宮南高	
	4.00	松嶋 愛太	1	中京大中京高	

	種目	記録	氏名	学年	所属
女子	100m	12.37	掛川 栞	2	愛知学院大
	200m	25.43	井戸アビゲイル風果	2	至学館高
	400m	57.23	松本 扶弥	3	愛知教育大
	800m	2.10.82	細井 裕菜	3	中京大中京高
	1500m	4.44.76	村上 弓月	2	豊明高
	3000m	9.39.88	国立 華蓮	3	至学館高
	100mH	13.92	小林紗矢香	4	愛知教育大
	400mH	1.01.72	北野 有紀	M1	愛知教育大
	5000mW	27.41.08	山下 桃子	2	天白高
	4×100mR	47.73	大城 珠莉	2	至学館高
			安藤 愛未	2	
			田中 海来	2	
			井戸アビゲイル風果	2	
	4×400mR	3.51.79	中井 彩加	2	中京大中京高
			三輪 未来	2	
			富塚日南々	3	
			細井 裕菜	3	
	走高跳A	1.66	菰田梨香子	1	至学館大
	走高跳B	1.53	青木 琴子	2	至学館高
棒高跳	3.30	竹内 朱里	4	至学館大	
走幅跳	5.62	富塚日南々	3	中京大中京高	
三段跳	12.03	平松 紗季	3	中京大中京高	
砲丸投	11.54	中島 彩瑛	1	中京大中京高	
円盤投	40.24	木村 飛実	3	至学館高	
ハンマー投	44.63	水野 杏香	4	至学館大	
やり投	47.20	田中 友梨	2	至学館高	
女子少年	100mYH	15.30	成田 乙葉	1	中京大中京高

女子中学	砲丸投	11.71	辻 萌々子	3	御幸山中
------	-----	-------	-------	---	------

2018 豊橋長距離競技会
2018年4月14日(土) 豊橋市陸上競技場

※1位のみ

種目	記録	氏名	学年	所属
中学・高校男子3000m	8.30.56	中洞 将	2	中京院中京高
高校・一般男子5000m	14.48.69	深谷 健斗		TPAC
中学・高校女子1500m	4.44.27	太田 帆香	1	愛知高
中学・高校・一般女子3000m	9.57.00	小笠原安香音	3	安城学園高

2018 国体選手選考春季選抜競技会
2018年4月21日(土)
パロマ瑞穂スタジアム・パロマ北競技場

※1位のみ

	種目	記録	氏名	学年	所属
男子成年	100m	10.68	本郷 汰樹		立命館大
	400m	48.80	近藤順三郎		スターライズ
	110mH	14.76	高野 克哉		トヨタ自動車
	400mH	51.12	真野悠太郎	4	名古屋大
	走高跳	2.10	道脇 大斗		エニスポ
	砲丸投	14.64	石井 健史		三菱重工名古屋
	やり投	72.22	八木 一憲		みかん山
男子少年A	100m	10.60	森 皓平	3	名古屋大谷高
	400m	48.44	佐々木寛太	3	昭和高
	5000m	14.45.06	大上 颯麻	3	豊川高
	400mH	51.32	伊奈 颯太	3	豊川高
	棒高跳	4.70	増田 智也	3	中京大中京高
	走幅跳	7.43	中野 裕仁	3	名城大附高
	ハンマー投	57.32	鈴木健太郎	3	名古屋大谷高
男子少年B	やり投	62.54	藤井 瑞樹	3	名古屋大谷高
	100m	10.85	浦野 凱瑛	1	桜丘高
	3000m	8.45.91	安藤 圭佑	1	豊川高
	走幅跳	6.47	中島 海翔	3	大府西中
男子少年共通	砲丸投	13.12	高橋 諒	1	名古屋大谷高
	800m	1.52.79	鳥居 風樹	3	中京大中京高
	110mJH	14.22	岩堀 剛己	2	名古屋高
男子少年共通	走高跳	1.95	田中 日向	2	安城学園高

男子少年共通	三段跳	14.18	稲田 大空	2	安城学園高
	円盤投	43.01	光岡 奨平	3	安城学園高
男子中学	110mH	14.99	西 徹朗	3	猪高中
	走高跳	1.86	今井 駆	3	古知野中
	走幅跳	6.19	吉田 和樹	3	豊橋東部中
	砲丸投	11.98	米澤 拓真	3	瀬戸南山中
男子中学	円盤投	24.83	兵藤 聖矢	3	千鳥丘中

	種目	記録	氏名	学年	所属
女子成年	100m	12.32	水野 瑛梨	3	至学館大
	400m	1.00.57	花木 優奈		小島プレス
	400mH	1.00.78	北野 有紀	M1	愛教大
	走高跳	1.70	伊藤 桃子	2	中京大中京高
	棒高跳	3.60	浦津 ななの	2	中京大中京高
女子少年A	やり投	45.61	館林 郁美	4	至学館大
	100m	12.05	井戸アビゲイル風果	2	至学館高
	400m	57.00	三輪 未来	2	中京大中京高
	3000m	9.36.42	国立 華蓮	3	至学館高
	100mH	14.01	安達 楓恋	2	中京大中京高
女子少年B	走幅跳	5.56	小林はづき	3	時習館高
	100m	12.45	須崎 心優	3	御幸山中
	1500m	4.48.58	青山 理奈	3	御幸山中
	100mYH	15.05	成田 乙葉	1	中京大中京高
	走幅跳	5.51	高橋 好波	1	三好高
女子少年共通	800m	2.08.46	細井 衿菜	3	中京大中京高
	400mH	1.01.84	佐竹 里野	2	明和高
	三段跳	12.09	平松 紗季	3	中京大中京高
	砲丸投	12.43	木村 飛実	3	至学館高
	円盤投	37.37	木村 飛実	3	至学館高
女子中学	やり投	47.78	田中 友梨	2	至学館高
	100mH	15.60	本多 柚稀	3	平坂中
	走高跳	1.55	鈴木 菜美	3	六ツ美北中
	走幅跳	4.86	小澤 彩加	3	宮田中
女子中学	砲丸投	12.36	辻 萌々子	3	御幸山中

第84回東海学生陸上競技対校選手権大会
2018年5月11日(金)～13日(日)
パロマ瑞穂スタジアム・パロマ北競技場

※1位のみ TUR:東海学生新 GR:大会新

	種目	記録	氏名	学年	校名
男子トロッコ	100m	10.61	矢橋 寛明	4	中京大
	200m	21.38	木村 颯	4	愛知教育大

男子トラック	400m	46.80	川満 健太	4	岐阜経済大
	800m	1.55.54	大島 実	1	岐阜経済大
	1500m	4.03.40	小林 宏輔	2	愛知工業大
	5000m	14.56.89	児玉 勘太	3	愛知工業大
	10000m	31.05.23	鈴木 高虎	2	愛知工業大
	110mH	14.19	山本 健太	M1	中京大
	400mH	50.88	小田 将矢	M1	名古屋大
	3000mSC	9.12.82	植松 達也	3	愛知工業大
	10000mW	43.23.64	鈴木 智大	1	名古屋大
	4×100mR	40.22	石倉 南斗	4	岐阜経済大
			藤本 峻介	3	
			山本 兼也	2	
			小田 直弥	4	
	4×400mR	3.12.66	五十嵐雅記	3	中京大
野村 勇輝			2		
祖父江 巧			3		
川端 魁人			2		

男子フィールド	走高跳	2.10	水谷 来	4	中京大
	棒高跳	5.20	石川 拓磨	3	中京大
	走幅跳	7.82 TUR GR	石倉 南斗	4	岐阜経済大
	三段跳	15.38	保坂 翔也	S2	鈴鹿高専
	砲丸投	15.42	戸澤 廣哉	3	中京大
	円盤投	46.50	中井 康二	2	中京大
	ハンマー投	65.93	古旗 崇裕	4	中京大
	やり投	77.08 GR	石山 歩	4	中京大
	混成	十種競技	6727	乾 颯人	4
対校得点	トラックの部：中京大 110点				
	フィールドの部：中京大 125点				
	混成の部：中京大 14点				
	総合：中京大 249点				

	種目	記録	氏名	学年	校名
女子トラック	100m	12.36	大松 由季	4	愛知教育大
	200m	24.82	松本 扶弥	3	愛知教育大

陸上競技場めぐり⑬

至学館大学陸上競技場の歩み

1. シンダー舗装の300mトラック

本学陸上グラウンドは、開設当初からトラックの1周が300mというコンパクトなグラウンドであった。女子大学（中京女子大学）ということで陸上競技部は女子選手のみであった。そのため、300mというトラックに不便さはなかったようで、昭和61年（1986年）にはメイン側直走路2レーン、フィールド種目の一部走路が全天候であり、トラック内はシンダー舗装（土のトラック）であった。陸上競技部にとってシンダー舗装の競技場は決して良い環境とは言いがたいが、日本のみならず世界で活躍する選手を多く輩出した。

2. 全天候型陸上競技場の誕生（2004年）

全天候トラックの一部分の老朽化が激しく、シンダー舗装のトラックも水はけが悪く、大変不便さを感じていた。そして、平成16年（2004年）に全面改修がなされ、全走路（6レーン）および跳躍ピットについては全面オールウェザー舗装となり、待望の全天候トラックが完成した。平成17年（2005年）には公認第5種を取得した。その後、平成20年（2008年）には公認第4種を取得した。その後、公認競技会が実施され、地域内外の多くの中高生に参加していただいた。その後本学は、平成22年（2010年）に男女共学となり、現在は男子学生の人数も多くなり、陸上競技部においても男子選手の活躍が目立つようになった。

3. 競技力向上に繋がる陸上競技場

本学の学長ならびに教職員の方のご理解とご協力があり、悲願であったグラウンド全面改修が認められ、平成29年（2017年）の12月に改修工事が行なわれ2月に完了した。これにより、直走路側を土から変更、走高跳とやり投のピットは全て全天候となり、棒高跳のピットもトラック内に収めることとなった。男子選手にとって短かった走幅跳助走路を、片側の砂場を省き長くした。グラウンドはさらにより良い環境となった。

本学陸上競技場では、ここ数年来公認競技会が開催されていないが、今後の夢として、一周300mと小さいグラウンドではあるが、その分競技会を行なううえで選手と観客の距離が近くなるなどの特性を活かし、欧州のように選手と観客が近く、Musicに溢れ、選手として出場しても楽しい、観ても楽しいライブのような競技会を目ざしていきたいと考えている。

（今井 美希）



現在の競技場

女子トラック	400m	56.45	安藤 もも	4	中京大
	800m	2.14.68	高橋 郁乃	3	中京大
	1500m	4.23.71	高松智美ムセンビ	1	名城大
	5000m	16.23.44	青木 和	4	名城大
	10000m	33.20.03	加世田梨花	2	名城大
	100mH	13.85	小林紗矢香	4	愛知教育大
	400mH	1.00.74	北野 有紀	M1	愛知教育大
	3000mSC	10.41.76	後藤 梨奈	2	中京大
	10000mW	48.53.54	橋 あぐり	1	中部学院大
	4×100mR	46.59	水野 瑛梨	3	至学館大
白田菜々美			2		
内藤 未彩			1		
近藤 七海			1		
4×400mR	3.50.14	加藤由樹子	3	至学館大	
		水野 瑛梨	3		
		八木穂乃花	2		
		近藤 七海	1		
女子フィールド	走高跳	1.69	菰田梨香子	1	至学館大
	棒高跳	3.70	今泉 友里	4	中京大
	走幅跳	5.99	明星 光	2	中京大
	三段跳	12.55 GR	浅野紗弥香	4	東海学園大
	砲丸投	12.42	富岡実乃梨	1	中京大
	円盤投	44.37	近藤 沙南	1	中京大
	ハンマー投	53.75	大久保祥子	4	中京大
	やり投	56.14 GR	中田 寛乃	3	愛知教育大
混成	七種競技	4821	飯嵩あかり	3	中京大
対校得点	トラックの部：中京大 124点				
	フィールドの部：中京大 125点				
対校得点	混成の部：中京大 21点				
	総合：中京大 270点				

第62回中部実業団対抗陸上競技大会

2018年5月12日(土)・13日(日)

岐阜メモリアルセンター長良川競技場

※愛知県分1位のみ GR：大会新 FR：外国人参考記録

	種目	記録	氏名	所属
男子	1500m	3.43.12	エバンスケイタニー	トヨタ紡織
	10000m	27.53.73	ロジャースチュモケモイ	愛三工業
	3000mSC	8.42.74	山口 浩勢	愛三工業
	10000mW	42.19.22	西塔 拓己	愛知製鋼

男子	4×400mR	3.18.39	服部 辰也	小島プレス
			嶋屋 昌芳	
			平田 勝己	
			安井 一樹	
	走幅跳	7.13	南 晋太郎	愛知県健康づくり振興
	砲丸投	14.36	石井 健史	三菱重工名古屋
	円盤投	56.79 GR	湯上 剛輝	トヨタ自動車
	ハンマー投	66.28	墨 訓熙	小林クリエイト
	やり投	73.23	八木 一憲	大府もちのき特別支援
	総合得点：2位 トヨタ自動車 45点 3位 小島プレス 28点			
女子	800m	2.06.39 FR	ヘレン エカラレ	豊田自動織機
	1500m	4.14.68 FR	アン カリンジ	豊田自動織機
	5000m	16.20.64	藪下 明音	豊田自動織機
	10000m	33.20.20	林田みさき	豊田自動織機
	100mH	14.82	遠山 実希	トヨタ自動車
	10000mW	46.51.86 GR	五藤 怜奈	ティラド
	4×100mR	48.00	加藤 早紀	小島プレス
			中尾 優里	
			齋藤 結	
			矢幅 由夏	
	4×400mR	4.10.66	花木 優奈	小島プレス
			齋藤 結	
			山下 留奈	
			中尾 優里	
	走幅跳	5.76	中尾 優里	小島プレス
	三段跳	11.84	加藤 早紀	小島プレス
砲丸投	10.14	遠山 実希	トヨタ自動車	
やり投	46.64	西山 育未	XEBIO	
総合得点：1位 小島プレス 62点 2位 豊田自動織機 44点				
男女	団体総合得点：1位 小島プレス 90点 3位 トヨタ自動車 74点			
男子Jr	1500m	3.56.53	小川 和也	中央発條
	5000m	14.40.35	森 拳真	トヨタ自動車
男子高校生	100m	11.15	田中 星次	トヨタ自動車
男子40歳以上	100m	11.60	小高 孝二	トヨタ自動車
	1500m	4.15.28	池田 昌雄	内外カーボン
男子オープン	5000m	14.07.17	中西 亮貴	トーエネック
	10000m	29.19.24	小山 裕太	トーエネック
女子オープン	5000m	16.24.52	萩原 歩美	豊田自動織機

第72回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技大会
兼第73回国民体育大会選手選考会
 2018年5月18日(金)～20日(日)
 パロマ瑞穂スタジアム・パロマ北競技場

※3位まで PR: 県高校新 GR: 大会新

種目	1位	2位	3位		
男子トラック	100m	服部 匡恭 10.77 中京大中京	森 皓平 10.77 名古屋大谷	伊藤 彰海 10.95 名古屋	
	200m	平松 慧士 21.76 豊川	森 皓平 21.96 名古屋大谷	服部 匡恭 22.28 中京大中京	
	400m	伊奈 颯太 47.84 豊川	中西 陽 48.66 豊田工業高専	佐々木寛太 48.78 昭和	
	800m	鳥居 風樹 1.54.69 中京大中京	筒井 航佑 1.55.97 時習館	田中 悠暉 1.56.18 岩倉総合	
	1500m	大上 颯麻 3.57.42 豊川	柳本 匡哉 3.57.94 豊川	中倉 啓敦 3.58.25 愛知	
	5000m	関口 雄大 15.05.91 豊川	岩城 亮介 15.06.92 豊川	柳本 匡哉 15.08.27 豊川	
	110mH	吉田 潤平 14.76 滝	辻 日向 14.82 岡崎	吉川 瑛亮 14.86 豊橋工	
	400mH	伊奈 颯太 53.25 豊川	板倉 彰汰 54.33 西春	林 亮太 54.97 旭野	
	3000mSC	松本 康汰 9.01.11 GR 愛知	岡内 雅矢 9.17.54 中京大中京	鈴木竜太郎 9.22.99 豊川	
	5000mW	梅本 崇弘 21.24.72 明和	武藤 洋太 21.28.99 西春	大島 涼賀 21.41.42 一宮	
	4×100mR	中京大中京 42.18 神谷 翔矢 服部 匡恭 鈴木 大河 清水 章吾	名古屋西 42.67 佐津川久遠 梅谷 太紀 尾崎 陸登 柴山倫太郎	名古屋大谷 42.73 吉田壮一郎 富田 将義 森 皓平 水草 有悟	
	4×400mR	豊川 3.19.60 菅野 圭柊 伊奈 颯太 加藤 大樹 天野 晴哉	中京大中京 3.19.69 稲川 慧亮 富田 大智 馬場勇一郎 鳥居 風樹	岡崎城西 3.19.77 岡本健太郎 坂本 悠 中谷 将麻 中谷 竜麻	
男子フィールド	走高跳	宇野琳太郎 2.04 安城学園	佐藤 拓仁 1.94 岡崎城西	立松 壮真 1.94 春日井南	
	棒高跳	増田 智也 5.01 GR 中京大中京	榊原 圭悟 4.70 岡崎城西	田中 優亮 4.50 中京大中京	
	走幅跳	中野 裕仁 7.52 GR 名城大附	梅谷 太紀 7.29 名古屋西	神谷 翔矢 7.12 中京大中京	
	三段跳	稲田 大空 14.10 安城学園	増田 智也 13.86 中京大中京	中村 優太 13.72 時習館	
	砲丸投	鈴木健太郎 14.43 名古屋大谷	春日井貴裕 14.38 市工芸	河相光太郎 14.26 春日井東	
	円盤投	光岡 奨平 44.36 安城学園	佐々木秀斗 44.28 安城学園	小島 一世 43.72 中京大中京	
	ハンマー投	鈴木健太郎 57.73 名古屋大谷	佐々木秀斗 55.41 安城学園	光岡 奨平 52.63 安城学園	
	やり投	藤井 瑞樹 62.57 名古屋大谷	堤 洸太郎 60.48 瑞陵	松谷 武 59.97 至学館	
	混成	八種競技	尾関 航平 5217 向陽	亀甲 空雅 4773 春日井南	岩井 友宏 4687 一宮

対校得点	トラックの部	豊川 54 点	中京大中京 38 点	愛知 18 点
	フィールドの部	安城学園 36 点	中京大中京 25 点	名古屋大谷 19 点
	総合	中京大中京 63 点	豊川 54 点	安城学園 41 点

種目	1位	2位	3位		
女子トラック	100m	井戸アビゲイル風果 11.80 至学館	高須 鮎香 11.95 中京大中京	西 真奈伽 12.09 大府東	
	200m	井戸アビゲイル風果 24.99 至学館	生田奈緒子 25.50 中京大中京	大城 珠莉 25.50 至学館	
	400m	木下 慶乃 56.40 愛知	山田真梨子 56.53 中京大中京	生田奈緒子 56.61 中京大中京	
	800m	細井 裕菜 2.10.20 GR 中京大中京	相場 里咲 2.16.01 豊橋南	森崎 綾乃 2.19.02 豊明	
	1500m	藤中 佑美 4.23.97 光ヶ丘女子	古川 璃音 4.27.64 豊川	国立 華蓮 4.28.56 至学館	
	3000m	藤中 佑美 9.19.06 光ヶ丘女子	古川 璃音 9.23.52 豊川	城所 日和 9.35.67 岡崎学園	
	100mH	安達 楓恋 13.83 GR 中京大中京	安藤 愛未 14.12 至学館	西川 知沙 14.43 豊橋南	
	400mH	佐竹 里野 1.03.46 明和	遠山 奈月 1.04.23 豊川	岡戸 美月 1.04.27 名古屋大谷	
	5000mW	上森 佳代 24.59.76 桜花学園	稲垣あかり 26.14.39 西春	社本 莉沙 26.33.43 西春	
	4×100mR	至学館 47.54 大城 珠莉 安藤 愛未 田中 海来 井戸アビゲイル風果	中京大中京 47.67 安達 楓恋 平松 紗季 生田奈緒子 高須 鮎香	豊橋南 49.22 西川 知沙 土方 桃菜 鈴木 晴菜 村田 綾香	
	4×400mR	中京大中京 3.47.10 山田真梨子 生田奈緒子 平松 紗季 細井 裕菜	豊橋南 3.49.18 西川 知沙 村田 綾香 鈴木 晴菜 相場 里咲	至学館 3.50.68 都築 美音 大城 珠莉 山下なぎさ 井戸アビゲイル風果	
	女子フィールド	走高跳	小笠原早矢楓 1.67 安城学園	伊藤 桃子 1.64 中京大中京	塩澤日菜子 1.64 岡崎城西
棒高跳		塩崎 泉 3.71 GR 至学館	渡邊 南月 3.40 岡崎城西	浦津なのの 3.30 中京大中京	
走幅跳		富塚日南々 5.84 中京大中京	小林はづき 5.84 時習館	伊藤 桃子 5.64 中京大中京	
三段跳		平松 紗季 12.26 中京大中京	都築 陽奈 12.03 三好	富塚日南々 11.96 中京大中京	
砲丸投		清水菜々子 12.29 中京大中京	中島 彩瑛 12.24 中京大中京	木村 飛実 11.97 至学館	
円盤投		近藤 未空 39.29 安城学園	木村 飛実 39.24 至学館	鳥居 佑南 37.85 安城学園	
ハンマー投		林 みなみ 46.87 一宮北	大久保春香 45.61 安城学園	濱田成美子 44.15 津島北	
やり投		石垣 綾香 45.80 半田	田中 友梨 44.22 至学館	山中 結未 41.15 名城大附	
混成		七種競技	伊藤 桃子 5065 PR GR 中京大中京	田中 友梨 4478 至学館	明上 桐子 4416 明和

対校得点	トラックの部	中京大中京 49 点	至学館 46 点	豊橋南 20 点
	フィールドの部	中京大中京 46 点	安城学園 26 点	至学館 21.5 点
	総合	中京大中京 103 点	至学館 73.5 点	安城学園 33 点

第18回アジアジュニア陸上競技選手権大会
2018年6月7日(木)～10日(日)
岐阜長良川スタジアム

男子 ※愛知県分のみ

種目	順位	記録	氏名	所属
800m	3	1.54.55	鳥居 風樹	中京大中京

第69回愛知県高等学校定時制通信制陸上競技大会
2018年6月10日(日) 知多運動公園陸上競技場

男子 ※1位のみ GR:大会新

種目	氏名	校名	記録
100m	川口 耕平	中央夜	11.9
200m	小久保匠平	豊橋工	24.1
400m	伊藤 隼隆	科技刈谷	53.7
800m	伊藤 隼隆	科技刈谷	2.05.6
1500m	大曾根魁志	科技刈谷	4.40.8
5000m	山本 空人	科技刈谷	17.58.9
400mH	橋本 陸馬	科技刈谷	1.02.7
3000mSC	大曾根魁志	科技刈谷	10.59.1
4×100mR	科技刈谷 (橋本 陸馬・清水 源樹・金子 仁哉・角田 侑哉)		46.9
4×400mR	科技刈谷 (伊藤 隼隆・橋本 陸馬・山本 空人・綾部 俊哉)		3.48.0
走高跳	清水 源樹	科技刈谷	1.75
走幅跳	角田 侑哉	科技刈谷	5.75
三段跳	角田 侑哉	科技刈谷	12.14
砲丸投	生井 柚希	豊橋昼	10.15
円盤投	水野 絢世	城北	28.77
男子総合	科技刈谷		94

女子

種目	氏名	校名	記録
100m	齋藤 美佳	科技刈谷	12.8 GR
200m	齋藤 美佳	科技刈谷	26.9 GR
400m	濱野 那佳	科技刈谷	1.08.5
800m	小林 利江	愛知黎明	2.36.0

3000m	小林 利江	愛知黎明	10.45.7
100mH	八田 彩伽	科技刈谷	18.7
4×100mR	科技刈谷 (濱野 那佳・尾崎 心花・八田 彩伽・齋藤 美佳)		56.6
走高跳	長岡 藍	豊橋昼	1.15
走幅跳	赤川 真白	起工	4.33
砲丸投	手嶋 茉星	一色	6.93
円盤投	豊田 晏慈	津島	16.63
女子総合	科技刈谷		61

第65回東海高等学校総合体育大会兼秩父宮賜杯
第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会東海地区予選会
2018年6月15日(金)～17日(日)
三重交通G スポーツの杜伊勢陸上競技場

6位(競歩は4位、混成は3位)入賞者は全国大会出場

男子 ※GR:大会新

種目	順位	記録	氏名	学校名
100m	3	10.71	森 皓平	名古屋大谷
	5	10.82	服部 匡恭	中京大中京
200m	5	21.62	平松 慧士	豊川
	6	21.65	森 皓平	名古屋大谷
400m	1	48.33	伊奈 颯太	豊川
800m	2	1:53.14	鳥居 風樹	中京大中京
	3	1:53.78	筒井 航佑	時習館
	5	1:54.10	馬場勇一郎	中京大中京
	6	1:54.43	田中 悠暉	岩倉総合
1500m	1	3:51.07	柳本 匡哉	豊川
	2	3:51.63	大上 颯麻	豊川
	3	3:51.86	中倉 啓敦	愛知
	6	3:52.38	近藤 亨	愛知
5000m	2	14:31.50	近藤幸太郎	豊川工
	5	14:33.02	関口 雄大	豊川
400mH	1	52.47	伊奈 颯太	豊川
	4	53.16	林 亮太	旭野
3000mSC	1	9:00.05	岡内 雅矢	中京大中京
	2	9:04.17	松本 康汰	愛知
	3	9:08.19	鈴木竜太郎	豊川
5000mW	6	21:39.00	梅本 崇弘	明和
4×100mR	3	40.70	神谷 翔矢・服部 匡恭・鈴木 大河・清水 章吾	中京大中京

4×100mR	4	40.99	佐津川久遠 柴山倫太郎 尾崎陸登 梅谷太紀	名古屋西
4×400mR	1	3:15.69	青木映瑠 佐津川久遠 尾崎陸登 柴山倫太郎	名古屋西
	3	3:15.88	稲川慧亮 富田大智 清水章吾 鳥居風樹	中京大中京
	4	3:16.04	坂本悠裕也 藤井将麻 中谷竜麻	岡崎城西
	5	3:16.50	加藤大樹 伊奈颯太 夏日寛太郎 天野晴哉	豊川
走高跳	1	2m10	宇野琳太郎	安城学園
	5	1m98	佐藤拓仁	岡崎城西
	6	1m95	田中日向	安城学園
棒高跳	2	5m00	増田智也	中京大中京
	3	4m90	榊原圭悟	岡崎城西
走幅跳	1	7m46	中野裕仁	名城大附
	6	7m05	藤田匠海	津島
砲丸投	6	15m04	春日井貴裕	市工芸
円盤投	5	46m27	光岡奨平	安城学園
ハンマー投	2	58m37	佐々木秀斗	安城学園
	4	57m02	鈴木健太郎	名古屋大谷
やり投	1	63m33	藤井瑞樹	名古屋大谷
	5	59m51	松谷武	至学館
八種競技	2	5345	尾関航平	向陽
総合	1位：豊川 33点 2位：中京大中京 28点			
トラック	1位：豊川 33点 2位：中京大中京 23点			
フィールド	3位：安城学園 14点 4位：名古屋大谷 9点 5位：名城大附 6点			

400m	3	56.56	木下慶乃	愛知
	4	56.75	山田真梨子	中京大中京
800m	1	2:08.76	細井 稔	中京大中京
	2	2:10.47	相場 里咲	豊橋南
1500m	1	4:25.02	藤中 佑美	光ヶ丘女子
	2	4:27.14	山本 有真	光ヶ丘女子
	4	4:28.28	古川 璃音	豊川
	5	4:28.50	森 美月	愛知
	3000m	1	9:30.73	藤中 佑美
2		9:32.46	山本 有真	光ヶ丘女子
3		9:36.30	古川 璃音	豊川
4		9:38.10	城所 日和	岡崎学園
5		9:40.20	国立 華蓮	至学館
100mH	1	13.74	安達 楓恋	中京大中京
	2	14.12	安藤 愛未	至学館
	5	14.27	西川 知沙	豊橋南
	6	14.31	駒木 遥	名古屋西
400mH	1	1:00.67 GR	佐竹 里野	明和
	3	1:01.60	岡戸 美月	名古屋大谷
	4	1:02.03	遠山 奈月	豊川
5000mW	1	24:43.19	上森 佳代	桜花学園
	5	25:12.48	稲垣あかり	西春
	6	25:42.41	社本 莉沙	西春
4×100mR	1	46.08	大城 珠莉 安藤 愛未 田中 海来 井戸アビゲイル風果	至学館
	2	46.36	安達 楓恋 平松 紗季 天神 綾音 高須 鮎香	中京大中京
	4	47.40	渡部 純果 村木 未滯 山濱 瑞希 中山 愛理	安城学園
	5	47.74	竹崎 郁乃 山口 聖 花井 優衣 深町 優衣	岡崎城西
	6	47.76	西川 知沙 土方 桃菜 竹川 綾乃 村田 綾香	豊橋南
	4×400mR	3	3:49.56	西川 知沙 村田 綾香 鈴木 晴菜 相場 里咲
4		3:50.57	都築 美音 大城 珠莉 山下 なきさ 井戸アビゲイル風果	至学館

女子

※ GR：大会新

種目	順位	記録	氏名	学校名
100m	1	11.97	高須 鮎香	中京大中京
	2	12.01	井戸アビゲイル風果	至学館
	3	12.16	天神 綾音	中京大中京
	5	12.26	大城 珠莉	至学館
200m	1	24.64	井戸アビゲイル風果	至学館
	2	24.91	大城 珠莉	至学館
	3	25.05	村木 未滯	安城学園
	5	25.15	田中 海来	至学館

4×400mR	5	3:53.42	山田真梨子 生田奈緒子 三輪 未来 細井 裕菜	中京大中京
	6	3:54.81	鹿嶋菜々子 木下 慶乃 井貝 沙彩 立石 留菜	愛知
走高跳	1	1m76	小笠原早矢楓	安城学園
	5	1m67	塩澤日菜子	岡崎城西
	6	1m64	千葉 玲央	岡崎城西
棒高跳	1	3m80 GR	塩崎 泉	至学館
	4	3m60	渡邊 南月	岡崎城西
走幅跳	5	5m68	小林はづき	時習館
	6	5m68	富塚日南々	中京大中京
三段跳	1	12m27	平松 紗季	中京大中京
	3	12m17	都築 陽奈	三好
円盤投	1	41m19	木村 飛実	至学館
	3	39m61	近藤 未空	安城学園
	6	38m40	中安海南子	瑞陵
ハンマー投	2	49m25	林 みなみ	一宮北
	4	46m15	大久保春香	安城学園
やり投	4	43m29	石垣 綾香	半田
	5	42m55	田中 友梨	至学館
	6	41m84	江口 茜里	名古屋大谷
七種競技	1	4928	伊藤 桃子	中京大中京
	3	4801	田中 友梨	至学館
	4	4521	明上 桐子	明和
七種競技	6	4392	秋尾 佳恵	名古屋西
総合	1位：至学館 54点 6位：安城学園 20点		3位：中京大中京 45点	
トラック	1位：至学館 36点 3位：光ヶ丘女子 22点		2位：中京大中京 32点 6位：豊橋南 12点	
フィールド	2位：至学館 14点 6位：中京大中京 7点		3位：安城学園 13点	

3000mSC	5	8.45.86	三上 嵩人	東海大
	7	8.53.06	高橋 流星	愛知製鋼
棒高跳	1	5.70	山本 聖途	トヨタ自動車
円盤投	1	62.16 日本新	湯上 剛輝	トヨタ自動車
ハンマー投	1	70.63	墨 訓熙	小林クリエイト
	6	67.12	古旗 崇裕	中京大
やり投	2	77.33	坂本 達哉	大阪体育大

女子

種目	順位	記録	氏名	所属
100m	3	11.67	市川 華菜	ミズノ
200m	2	23.83	市川 華菜	ミズノ
800m	6	2.06.17	細井 裕菜	中京大中京高
走高跳	5	1.77	中西 美早	日本体育大
	6	1.74	小笠原早矢楓	安城学園高
円盤投	7	47.54	川口 紅音	日本体育大

2018 愛知県小学生リレー大会
2018年6月24日(日) パロマ瑞穂スタジアム

男子

GR：大会新

種目名	1位	2位	3位
5年100m	水野 賢仁 13.20 なごや陸上	中島 悠太 13.41 TSM	小野 真大 13.53 安城 JAC
6年100m	久野 聡 12.75 上郷 JAC	高井 佑太 12.87 JAC 武豊	河邊 一秀 12.94 田原陸上ク
共通80mH (0.700m)	鈴木琥太郎 12.89 TSM	三井 隆正 13.02 TSM	杉浦 碧 13.12 TSM
共通 4×100mR	安城 JAC A 52.22 丹羽 咲弥 平林 駿登 近藤 淳貴 百崎 蒼太	田原陸上ク A 52.56 林 天志郎 河邊 一秀 西山 悠雅 鈴木 琉聖	TSM A 52.70 桂木 遥都 鈴木琥太郎 上島 芳滋 濱田 修伍
共通 走高跳	佐々木 哲 1.30 TSM	坂井 大一 1.30 TSM	有本 光希 1.25 布袋陸上クラブ
4年 走幅跳	本明 勇歩 3.93 蒲郡クラブ	木村 晴 3.90 JAC 武豊	丸田 昊 3.62 TSM
共通 走幅跳	梶山 泰輔 4.65 ハイテク AC	柏崎 祐毅 4.64 作野 AC	中野 彰人 4.58 JAC 武豊
4年 50m	高島 峻央 7.84 TSM	倉地 康介 7.98 安城 JAC	木原 涉壘 8.04 安城 JAC
4年 ジャバリックボール投	祖父江結人 38.14 TSM	早川 輝 35.66 安城北部小学校	鈴木 涼太 32.08 大須 AC
共通 ジャバリックボール投	鬼頭 孝征 56.90 JAC あつみ	廣瀬 行成 51.33 いっしき陸上	片山 塔揮 50.66 JAC あつみ

第102回 日本陸上競技選手権大会

2018年6月22日(金)～24日(日) 維新百年記念公園陸上競技場

(愛知県分 8位入賞者)

男子

種目	順位	記録	氏名	所属
5000m	1	14.21.52	服部 弾馬	トーエネック
	6	14.25.58	中川 智春	トヨタ自動車
400mH	7	51.34	真野悠太郎	名古屋大
3000mSC	2	8.34.40	山口 浩勢	愛三工業

女子

GR: 大会新

種目名	1位	2位	3位
5年 100m	三輪 琉姫 13.80 トライル AC	佐竹 愛琉 14.02 豊川 AC	神谷 朱里 14.04 安城 JAC
6年 100m	佐藤 侗有 12.86 田原陸上ク GR	高津 采里 13.23 田原陸上ク	加藤 愛菜 13.32 豊橋陸上
共通80mH (0.700m)	杉藤 葵 12.59 AC 一宮 K GR	打田 瞳美 12.79 TSM	野村 美結 12.81 TSM
共通 4×100mR	田原陸上ク A 51.50 GR 眞田 あこ 高津 采里 渡辺 葉夏 佐藤 侗有	TSM A 52.91 打田 瞳美 寺島 慶 水野文由里 杉浦 千恵	豊橋陸上 A 53.31 河合 美駒 加藤 愛菜 鈴木瑠利子 斉藤ゆずな
共通 走高跳	野畑 那月 1.30 TFC 半田	石田 彩桜 1.30 TSM	高橋 美羽 1.25 OBU エニスポ
4年 走幅跳	蛭川 真奈 3.53 成岩 SC 陸上	伊藤 陽南 3.45 知立ジュニア	石原 礼奈 3.36 豊川 AC
共通 走幅跳	水野文由里 4.56 TSM	新井沙也加 4.36 なごや陸上	山上 夢乃 4.36 田原陸上ク
4年 50m	高崎 生愛 7.89 稲沢 AC	田中 咲有 7.93 安城 JAC	木原 京香 7.94 大須 AC
4年 ジャバクボール投	夏目 純佳 30.13 TSM 岡崎	大野 奈美 28.08 AC 一宮 K	佐藤 聖夏 26.66 トライル AC
共通 ジャバクボール投	中村 文香 48.57 TSM GR	伊藤 優亜 46.70 愛知つばさ TCA	河合 南菜 44.85 JAC あつみ

混合

種目名	1位	2位	3位
4年 4×100mR	豊橋陸上 A 59.89 布施 一葉 花井 咲愛 長岡 碧 森本 幸希	豊川 AC 1.00.57 久保 結愛 松本 晴佳 近藤 颯哉 今泉 成聖	安城 JAC A 1.00.70 田中 咲有 相田 清良 田口 心道 倉地 康介
5年 4×100mR	安城 JAC A 54.71 嶋貫 千滉 神谷 朱里 服部 仁弥 小野 真大	TSM A 55.52 井坂 優里 岡 郁菜 高島 悠生 中島 悠太	トライル AC A 55.60 岡林 凜 三輪 琉姫 荒木 瑠希 奥田 真平

2018東海混成競技大会兼第39回愛知県混成競技大会兼第78回愛知選手権リレー兼国体選考競技会・ジュニア記録会兼第15回愛知レディース陸上競技大会
2018年6月30日(土)・7月1日(日)パロマ瑞穂スタジアム

GR: 大会新

	種目	1位	2位	3位
東海・愛知	男子混成十種競技	李 如來 5224 愛知教育大	竹内 秀行 4424 城西 AC	
	女子混成七種競技	掛井 真子 4664 城西大	白鳥 百花 4191 中京大中京高	前田あすか 4026 名城大附高
選手権男子	5000m	深谷 健斗 14.55.65 TPAC	四辻 剛 14.57.30 トヨタSC	松元 響 15.04.23 愛知黎明高
	10000m	鈴木竜太郎 31.15.30 豊川高	柏 優吾 31.21.63 豊川高	藤井 寛之 31.37.37 愛三工業

少年共通男子	110mH (0.991m)	鈴木 大河 14.92 中京大中京高	土屋 翔栄 15.71 安城学園高	井上 享吾 15.77 安城学園高
選手権男子	4×100mR	トヨタ自動車 40.53 田中 星次 高野 克哉 新城 健斗 渡邊圭一郎	中京大中京高 40.93 神谷 翔矢 服部 匡恭 鈴木 大河 清水 章吾	中京大 40.93 杉本 大騎 木下 博貴 佐藤 智博 市橋 直也
	4×400mR	トヨタ自動車 3.15.48 新城 健斗 長谷川 慎 高野 克哉 木屋川内浩二	中京大中京高 3.20.14 鳥居 風樹 馬場勇一郎 稲川 慧亮 中西 永樹	愛知教育大学 3.21.34 澤井 奎志 跡見 俊明 中村 壮志 山田 崇義
選手権女子	5000m	小笠原安香音 17.04.45 安城学園高	服部 若菜 17.08.39 愛知黎明高	稲吉 椿 17.11.61 光ヶ丘女子高
	4×100m	中京大中京高 47.16 安達 楓恋 天神 綾音 外園 愛梨 平松 紗季	至学館高 47.33 大城 珠莉 安藤 愛未 田中 海来 都築 美音	豊橋南高 47.94 西川 知沙 土方 桃菜 竹川 綾乃 村田 綾香
	4×400mR	豊橋南高 3.49.34 西川 知沙 村田 綾香 鈴木 晴菜 相場 里咲	中京大中京高 3.50.68 山田 晴華 三輪 未来 中井 彩加 山田真梨子	至学館高 3.54.45 都築 美音 大城 珠莉 山下なぎさ 星川 菜鈴
	100m	大城 珠莉 12.43 至学館高	天神 綾音 12.47 中京大中京高	加藤 桃佳 12.50 至学館大
レディース一般	200m	村木 未澪 25.40 安城学園高	山口こころ 25.94 岡崎城西	三輪 未来 26.18 中京大中京高
	400m	山田真梨子 56.85 中京大中京高	生田奈緒子 57.19 中京大中京高	平野 瑞季 59.04 一宮高
	800m	山中今日香 2.17.37 椋山女学園大	吉田 彩乃 2.18.37 愛知高	森田 柚衣 2.19.25 愛知高
	1500m	村上 弓月 4.39.19 豊明高	松原 亜純 4.41.31 愛知高	米谷 結希 4.43.71 愛知電機
	100mH (0.838m)	安達 楓恋 14.28 中京大中京高	安藤 愛未 14.47 至学館高	駒木 遥 14.72 名古屋西高
	400mH (0.762m)	酒井 響子 1.07.12 岡崎城西	桑山 桃花 1.07.38 名古屋西高	中井 彩加 1.08.09 中京大中京高
	3000mSC (0.762m)	森崎 綾乃 11.19.65 豊明高	石原 李華 11.39.84 岡崎城西	石橋 京佳 11.49.40 至学館高
	走高跳	小寺 波音 1.64 安城学園高	原 侑子 1.61 至学館大	渡邊 深友 1.61 岡崎城西
	走幅跳	冨塚日南々 5.66 中京大中京高	鮫島 実里 5.35 至学館高	安藤 萌衣 5.32 昭和高
	三段跳	平松 紗季 12.06 中京大中京高	田中 遥 11.51 安城学園高	椋山 薫 11.39 名東高
砲丸投 (4.000kg)	清水菜々子 11.98 中京大中京高	中島 彩瑛 11.82 中京大中京高	木下 七海 11.31 旭野高	
円盤投 (1.000kg)	牧 亜香里 39.73 中京大	木村 飛実 37.28 至学館高	岩室 紗花 33.98 至学館高	
やり投 (0.600kg)	石垣 綾香 42.68 半田高	杉山 そら 39.91 中京大中京高	今本 夏鈴 36.77 藤ノ花女子高	

レディース中学	100m	中西 楓夏 12.82 TSM	大城 莉夢 12.83 弥富中	手島 美咲 12.90 竜海中
	200m	飯田 真衣 25.78 大高中	中根 葵 26.60 矢作中	小幡 胡実 26.73 日進西中
	800m	青山 理奈 2.13.80 GR 御幸山中	澤田 理紗 2.21.53 愛知陸協	北村 はる 2.21.69 野間中
	1500m	林 愛望 4.41.41 GR 鶴城中	猪熊 紗伎 4.41.78 TSM	林 那優 4.41.91 一宮中
	100mH (0.762m)	松本佳音彩 14.33 GR TSM	新垣 舞桜 14.60 豊川東部中	中西百萌佳 14.73 TSM
	走高跳	野村 美咲 1.59 福岡中	栗田 唯衣 1.59 豊川東部中	鈴木 菜美 1.59 六ツ美北中
	走幅跳	菅沼 瑠璃 5.26 田原東部中	深江 寛奈 5.25 北陵中	松村 琴都 5.23 TSM
	砲丸投 (2.721kg)	辻 萌々子 13.70 GR 御幸山中	小原 恵 12.51 大高中	川崎 雅奈 11.89 豊明中
レディース共通	メドレー リレー	御幸山中 2.18.70 PH 松本 愛由 葛田 百那 須崎 心優 青山 理奈	TSM 2.22.80 田島七里香 坂口 由花 松本佳音彩 中西 楓夏	明和高校 2.23.54 余川日菜多 近藤 千夏 佐竹 里野 丹羽 優菜
	棒高跳	塩崎 泉 3.70 GR 至学館高	浦津なのの 3.61 GR 中京大中京高	渡邊 南月 3.50 岡崎城西
国体男子少年B	100m	浦野 凱瑛 10.95 桜丘高	射場 遼太 11.02 豊橋東高	佐野 尊 11.11 愛知高
	3000m	小林 亮太 8.44.54 豊川高	安藤 圭佑 8.50.04 豊川高	吉居 駿恭 8.54.28 田原東部中
	走幅跳	中島 海翔 6.99 大府西中	浅井 夏輝 6.95 中京大中京高	加藤 隼輝 6.67 長久手北中
	砲丸投 (5.000kg)	長嶋 流万 13.54 高蔵寺中	高橋 諒 13.47 名古屋大谷高	古郡 駿一 12.13 春日丘高
ABC男子	円盤投 (1.500kg)	上村 勇輝 36.77 TSM	東山 紅空 30.67 港南中	小島 諒大 28.80 守山東中
BC男子	砲丸投 (4.000kg)	佐藤 喜嗣 11.43 羽田中	田中 佳亮 10.35 御幸山中	金沢 耀 9.33 港南中
国体女子少年B	100m	谷口 琴音 12.65 岡崎高	須崎 心優 12.73 御幸山中	濱山 瑞希 12.81 安城学園高
	1500m	太田 帆香 4.39.17 愛知高	川島 実桜 4.46.51 豊橋南高	丹羽 琴音 4.47.13 尾張旭西中
	100m YH (0.762m+8.5m)	成田 乙葉 15.08 中京大中京高	鏡味 咲耶 15.48 半田高	伊藤 凜乃 15.75 西陵高
	走幅跳	高橋 好波 5.53 三好高	加藤 彩也 5.41 岡崎城西	伊藤 凜乃 5.15 西陵高
ABC女子	円盤投 (1.000kg)	中島 未来 23.20 守山東中	平岡 菜子 22.50 守山東中	花野 りお 19.92 守山東中

ましたが、県内には以前紹介した高田由基選手や兼松藍子選手以外にもウルトラマラソンの名ランナーがいます。それが、6月10日に累計標高差2489mの第7回飛騨高山ウルトラマラソン(100km)で5連覇を達成した中村麻季子選手です。

中村選手の言によれば、「エイドで食べ放題的那覇マラソンを走ろう!」をきっかけにマラソンを走り初め、いつの間にかウルトラマラソンの世界へとハマり込んでいったのだそうです。今では押しも押されぬ名ランナーとなった中村選手の5連覇の軌跡を、第3回大会の初優勝からたどっておきます。

第3回大会 9. 12. 26 第4回大会 8. 50. 05
第5回大会 8. 48. 07 第6回大会 8. 21. 24
第7回大会 8. 41. 28

次にここ2大会の優勝コメントを掲載しておきますので、中村選手のウルトラマラソンに対する思い、レースに向かう思いを受け止めてください。

【第6回大会】

年に一度は100キロの挑戦!から始まったウルトラマラソンへの挑戦、すっかりはまってしまい大好きになった飛騨高山ウルトラマラソン。世界遺産シリーズで優勝できてとても嬉しいです。目的地まで80キロくらいの距離なら走って行こう!という感覚になってしまい、人間変われば変わるものだなあと実感しました。世間の変態さんランナーにも憧れてます(笑)。

世界遺産シリーズ5大会は全て魅力的な大会なので、いつか全制覇したいです。



第6回笑顔のフィニッシュ 第7回5連覇のフィニッシュ

【第7回大会】

今年もたくさん楽しんで、たまに苦しんでゴールできました。「5連覇がかかるプレッシャーのある中で大変だったね」とよく言われます。上には上がいるし負けるときは負けるって思っていたので、プレッシャーなんて全く無く、自分らしくマイペースで走ることができました。

ゴールの瞬間が嬉しすぎてくしゃくしゃの顔のゴールとなってしまいましたが、写真を意識すべきだったと反省です(笑)。また来年も楽しみにしています。

(大会事務局 HP より)

【注】世界遺産シリーズ：正式には「世界遺産シリーズ・ジオパークシリーズ」。チャレンジ富士五湖、飛騨高山、日光、白山白川郷、丹後の5つの大会からなるシリーズ。丹後を除く4大会が世界遺産シリーズ、白山白川郷と丹後がジオパークシリーズ。いずれも100kmの大会。シリーズのポイントで総合成績を争うもの。

ウルトラマラソンには数多くの大会がありますが、100km公認の大会はサロマ湖をはじめ5大会だけです。飛騨高山は残念ながら非公認の大会です。中村選手は世界

トピックス

飛騨高山ウルトラマラソン5連覇

—中村麻季子選手(FINDOUT:陸協広報43号で紹介のチーム)—
前号で「ウルトラマラソンへの誘い」の寄稿を掲載し

遺産・ジオパークシリーズ全制覇を目ざしておられますので、公認の大会である「丹後」での公認記録が待たれます。
(大西 敏功)

- ③第61回東海陸上競技選手権大会について
- ④2018年U20・U18選手権大会について
- ⑤その他

(水野 隆夫)

理事会等会議報告

○3月理事会 30年3月26日(月) 18:00 教育会館

1 協議事項

- 第1号議案 平成30年度事業計画(案)について
- 第2号議案 平成30年度収支予算(案)について
- その他

2 報告事項

- ①各専門委員会からの報告
- ②各地区陸協からの報告
- ③各協力団体からの報告
- ④その他

○4月理事会 30年4月16日(月) 18:00 教育会館

1 協議事項

- ①各専門委員会の方針、及び年間計画について
- ②その他

2 報告事項

- ①マラソンフェスティバル反省について
- ②読売犬山ハーフマラソン反省について
- ③その他

○6月理事会 30年6月11日(月) 18:00 教育会館

1 協議事項

- 第1号議案 平成29年度一般概要及び事業報告について
- 第2号議案 平成29年度決算報告について 監査報告
- 第3号議案 平成30年度愛知陸協会長表彰候補者推薦について
- 第4号議案 第78回愛知陸上競技選手権大会選手権賞寄贈について

その他

2 報告事項

- ①第61回東海陸上競技選手権大会について
- ②2018年U20・U18選手権大会について
- ③各専門委員会からの報告
- ④各地区陸協からの報告
- ⑤各協力団体からの報告
- ⑥その他

○定時評議員会 30年6月26日(火) 18:00 教育会館

1 協議事項

- 第1号議案 平成29年度一般概要及び事業報告について
- 第2号議案 平成29年度決算報告について 監査報告
- その他

2 報告事項

- ①平成30年度愛知陸協会長表彰候補者推薦について
- ②第78回愛知陸上競技選手権大会選手権賞寄贈の依頼について

栄章

おめでとうございます

愛知陸上競技協会会長表彰

平成30年7月15日(日)に表彰式が行なわれました。長年の愛知陸協への貢献が認められ、表彰された方は、次の3名の皆様です。(敬称略)

- (尾張) 松井 健
 - (名古屋) 大久保照雄
 - (名古屋) 八田 定丸
- おめでとうございます。



陸協会長表彰のようす

また、平成29年度日本陸連高校優秀選手章・中学優秀選手章が、次の2名の選手に対して、伝達表彰されました。

- (高校優秀選手章) 宮川 杏奈(三好高)
- (中学優秀選手章) 鈴木 大河(扇台中)

おめでとうございます。

(水野 隆夫)

お く や み

長年本県の陸上競技の発展のため、多大なるご尽力をいただきましてありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	支部名
中村 節夫	30・4	名古屋
山内 正人	30・7	名古屋

編 集 後 記

◇新記録の続出は、誠に嬉しい限りだ。さらに新記録が誕生するよう陸協あげて取り組みたい。◇8月のインドネシアアジア大会での、愛知ゆかりの選手の活躍を祈る。◇シーズン後半がより充実するように!◇寄稿に深謝。

編 集 委 員

- 大西 敏功 小坂 拓 鈴木人呂信 竹前 正直
- 茶谷 和彦 新見 精三 野口 一昭 兵藤 重二
- 山下ゆかり